令和３年度工事	部長	課長	担当課長補佐	主任	設計

啓成小学校ふれあい棟新築ほか建築主体工事

工事場所　：　米子市博労町四丁目290番地

工期　　：　契約日～　令和4年8月31日

金：　　円

（　工事価格：　　円　）

（　うち消費税：　　円　）

米　子　市

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		監理事務所補正あり
現場管理費	1	式		産廃処分税計上
一般管理費等	1	式		契約保証費計上
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
一般工事（新営）	1	式		
その他工事（新営）	1	式		
鉄骨工事（新営）	1	式		
発生材処分（新営）	1	式		
一般工事（改修） 既存屋内運動場改修	1	式		
その他工事（改修） 既存渡り廊下解体	1	式		
発生材処分（改修）	1	式		
計				

一般工事（新営）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
ふれあい棟	1	式		
ふれあい棟（なかよし学級）	1	式		
大屋根	1	式		
渡り廊下	1	式		
外構	1	式		
計				

その他工事（新営）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
外構	1	式		
計				

米　子　市

鉄骨工事（新営）

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
ふれあい棟	1	式		
大屋根	1	式		
渡り廊下	1	式		
計				

発生材処分（新営）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
発生材処分	1	式		
計				

一般工事（改修）既存屋内運動場改修

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
直接仮設	1	式		
土工	1	式		
地業	1	式		
鉄筋	1	式		
コンクリート	1	式		
型枠	1	式		
防水	1	式		
木工	1	式		
屋根及びとい	1	式		
金属	1	式		
左官	1	式		
塗装	1	式		
内外装	1	式		
撤去	1	式		
計				

その他工事（改修）既存渡り廊下解体

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
解体	1	式		
計				

発生材処分（改修）

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
発生材処分費	1	式		
計				

一般工事（新営）

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
ふれあい棟	直接仮設	1	式		
ふれあい棟	土工	1	式		
ふれあい棟	地業	1	式		
ふれあい棟	既製コンクリート杭地業	1	式		
ふれあい棟	鉄筋	1	式		
ふれあい棟	コンクリート	1	式		
ふれあい棟	型枠	1	式		
ふれあい棟	防水	1	式		
ふれあい棟	石（なかよし学級を除く）	1	式		
ふれあい棟	タイル（なかよし学級を除く）	1	式		
ふれあい棟	木（なかよし学級を除く）	1	式		
ふれあい棟	屋根	1	式		
ふれあい棟	金属（なかよし学級を除く）	1	式		
ふれあい棟	左官（なかよし学級を除く）	1	式		
ふれあい棟	木製建具	1	式		
ふれあい棟	金属製建具	1	式		
ふれあい棟	ガラス	1	式		
ふれあい棟	塗装（なかよし学級を除く）	1	式		
ふれあい棟	内外装（なかよし学級を除く）	1	式		
ふれあい棟	ユニット（なかよし学級を除く）	1	式		

一般工事（新営）

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
ふれあい棟	家具（なかよし学級を除く）	1	式		
計					
ふれあい棟（なかよし学級）	石工事	1	式		
ふれあい棟（なかよし学級）	タイル	1	式		
ふれあい棟（なかよし学級）	木	1	式		
ふれあい棟（なかよし学級）	金属	1	式		
ふれあい棟（なかよし学級）	左官	1	式		
ふれあい棟（なかよし学級）	塗装	1	式		
ふれあい棟（なかよし学級）	内外装	1	式		
ふれあい棟（なかよし学級）	ユニット	1	式		
ふれあい棟（なかよし学級）	家具	1	式		
計					
大屋根	直接仮設	1	式		
大屋根	土工	1	式		
大屋根	地業	1	式		
大屋根	既製コンクリート杭地業	1	式		
大屋根	鉄筋	1	式		
大屋根	コンクリート	1	式		
大屋根	型枠	1	式		
大屋根	タイル	1	式		

一般工事（新営）

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
大屋根	左官	1	式		
大屋根	屋根	1	式		
大屋根	金属	1	式		
大屋根	塗装	1	式		
大屋根	内外装	1	式		
大屋根	ユニット・その他	1	式		
計					
渡り廊下	直接仮設	1	式		
渡り廊下	土工	1	式		
渡り廊下	地業	1	式		
渡り廊下	鉄筋	1	式		
渡り廊下	コンクリート	1	式		
渡り廊下	型枠	1	式		
渡り廊下	タイル	1	式		
渡り廊下	屋根	1	式		
渡り廊下	金属	1	式		
渡り廊下	左官	1	式		
渡り廊下	塗装	1	式		
渡り廊下	撤去工事	1	式		
計					

一般工事（新営）

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
外構	舗装	1	式		
外構	囲障	1	式		
外構	雨水排水	1	式		
外構	植栽	1	式		
外構	その他	1	式		
外構	敷地外工事	1	式		
外構	発生材処理	1	式		
計					

その他工事（新営）

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
外構	舗装	1	式		
外構	植栽	1	式		
計					

鉄骨工事（新営）

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
ふれあい棟	本体鉄骨	1	式		
ふれあい棟	付帯鉄骨等	1	式		
計					
大屋根	本体鉄骨	1	式		
大屋根	付帯鉄骨等	1	式		
計					
渡り廊下	本体鉄骨	1	式		
渡り廊下	付帯鉄骨等	1	式		
計					

発生材処分（新営）

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
発生材処分	発生材処分	1	式		
計					

一般工事（改修）既存屋内運動場改修

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業		1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
防水		1	式		
計					
木工		1	式		
計					
屋根及びとい		1	式		
計					
金属		1	式		
計					

一般工事（改修）既存屋内運動場改修

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
左官		1	式		
計					
塗装		1	式		
計					
内外装		1	式		
計					
撤去	撤去	1	式		
計					

その他工事（改修）既存渡り廊下解体

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
解体	解体	1	式		
計					

米　子　市

発生材処分（改修）

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
発生材処分費	発生材処分	1	式		
計					

一般工事（新営）　ふれあい棟　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0001
墨出し		1	式			別紙 00-0002
養生		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0004
外部足場		1	式			別紙 00-0005
地足場		1	式			別紙 00-0006
内部足場		1	式			別紙 00-0007
災害防止		1	式			別紙 00-0008
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0009
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　土工

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り	つぼ,布掘り 深さ2.5m程度	577	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	97	m3			
杭間ざらい	既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭　φ350～600mm	33	本			
床付け	つぼ,布掘り	303	㎡			
積み込み		215	m3			
場内仮置き	杭残土　場内運搬共	215	m3			
積み込み		215	m3			
埋戻し(A種)	-　山砂の類	44	m3			
埋戻し(B種)	-　発生土	215	m3			杭残土利用
積み込み		577	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　土砂 DID区間無し 22.5km以下	674	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床下防湿層敷き	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚0.15	533	㎡			
土間下断熱材敷き	3種b 厚さ25㎜	549	㎡			
天井 ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ板	厚さ25　打込み	90	㎡			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	89	m3			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　既製コンクリート杭地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
材料		1	式			別紙 00-0038
杭下ろし費		1	式			
施工費		1	式			別紙 00-0039
杭頭補強筋		1	式			別紙 00-0040
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　鉄筋

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
異形鉄筋	SD295A D10	17	t			
異形鉄筋	SD295A D13	32	t			
異形鉄筋	SD295A D16	0.05	t			
異形鉄筋	SD345 D19	3.23	t			
異形鉄筋	SD345 D22	19	t			
異形鉄筋	SD345 D25	4.43	t			
鉄筋運搬費	10ｔ車 30km程度	73	t			
鉄筋加工組立	RCﾗｰﾒﾝ構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	73	t			
スクラップ	H2	-2.02	t			
鉄筋ｶﾞｽ圧接	D22 -D22	775	か所			
鉄筋ｶﾞｽ圧接	D25 -D25	116	か所			
梁貫通補強	100φ以下　材工共	31	か所			
梁貫通補強	200φ以下　材工共	19	か所			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　コンクリート

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ 18-15-20N	15				
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎部　27-15-20N 構造体強度補正S+3	247	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	躯体部　27-15-20N 構造体強度補正S+3	255	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	土間　24-15-20N	17	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	2	回			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 基本料金	100m3/回以上	3	回			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 30m3/回程度　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	15	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 100m3/回以上　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	247	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	躯体　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 100m3/回以上　S15～S18 標準階高 圧送費､基本料別途	255	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回程度　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	17	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ 圧送	100m3/回以上 基本料金別途加算	534	m3			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　型枠

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
メッシュ型枠 （運搬費込み）		407	㎡			
型枠	普通合板型枠 ﾗｰﾒﾝ構造　地上軸部 階高3.5～4.0m程度	1,221	㎡			
型枠	普通合板型枠 －　基礎部 －	327	㎡			
型枠	打放合板型枠B種 ﾗｰﾒﾝ構造　基礎部 －	85.4	㎡			
打放し型枠(曲面)	基礎B種	2.1	㎡			
打放し型枠(曲面)	基礎B種	4.4	㎡			
型枠	打放合板型枠B種 ﾗｰﾒﾝ構造　地上軸部 階高3.5～4.0m程度	470	㎡			
打放し型枠(曲面)	地上B種	63.7	㎡			
型枠目地棒	打継目地 幅20 ×深さ20程度	144	m			
型枠目地棒	化粧目地 幅20 ×深さ10程度	96.2	m			
型枠目地棒	水切目地 幅15 ×深さ10程度	64.7	m			
打放し面補修	B 種 ｺｰﾝ処理　部分目違いばらい	653	㎡			
型枠廃材処分費		725	㎡			
型枠運搬費	10ｔ車 30km程度 往復	2,174	㎡			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　防水

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　外部　）						
屋根床改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　ASI-T1	硬質ウレタンフォーム断熱材 t=30 保護塗料共	591	㎡			
屋根立上り改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水　ASI-T1	保護塗料共	83.4	㎡			
屋根立上り天端改質ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 ASI-T1	保護塗料共	19.2	㎡			
脱気筒	ｽﾃﾝﾚｽ製	9	か所			
庇天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ｶﾗｰ	60.1	㎡			
ﾊﾄ小屋天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ｶﾗｰ	5.6	㎡			
機械基礎天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ｶﾗｰ	1.8	㎡			
目隠しﾌｪﾝｽ基礎天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ｶﾗｰ	2.3	㎡			
発電機基礎天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ｶﾗｰ	4.1	㎡			
CB基礎天端 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　平面 表面塗装ｶﾗｰ	5.7	㎡			
庇立上り 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ｶﾗｰ	12.9	㎡			
ﾊﾄ小屋立上り 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ｶﾗｰ	1.9	㎡			
機械基礎立上り 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ｶﾗｰ	1.3	㎡			
目隠しﾌｪﾝｽ基礎立上り 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ｶﾗｰ	1.7	㎡			
発電機基礎立上り 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ｶﾗｰ	0.9	㎡			
CB基礎立上り 塗膜防水	X-2 密着工法 ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系　立上り 表面塗装ｶﾗｰ	2.3	㎡			
防水押え金物	ｱﾙﾐ製 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水用	176	m			
防水立上り水切金物	ｱﾙﾐ製 L-D30×H85程度 ｺﾞﾑﾊﾟｯｷﾝ付	69	m			
シーリング	ゴムアスファルト系　10 x 10 防水押え金物取合い	176	m			

一般工事（新営）　ふれあい棟　防水

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 20×10	144	m			打継目地
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 20×10	96.2	m			誘発目地
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10	5.2	m			ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ周囲
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10	69	m			水切金物取合い
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 15×10	240	m			建具廻り
（　内部　）						
ｼｰﾘﾝｸﾞ	一般部 変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10	18.8	m			面台取合
止水版	150ｘ5	60	m			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　石（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　内部　）						
1F 男子職員WC汚 垂石タイル	W2400×D600	1	か所			
外部男子WC汚 垂石タイル	W710×D600	1	か所			
上り框	御影石 100×40 本磨き	2.4	m			
上り框	御影石　100×120　本磨き	2.4	m			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　タイル（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　外部　）						
ふれあい玄関 床 ﾀｲﾙ張り	磁器質 200角ﾀｲﾙ貼 下地ﾓﾙﾀﾙ別途	4.9	㎡			
なかよし玄関 床 ﾀｲﾙ張り	磁器質 200角ﾀｲﾙ貼 下地ﾓﾙﾀﾙ別途	4.8				
（　内部　）						
床ﾀｲﾙ張り	一般床ﾀｲﾙ張 Ⅰ類　無ゆう 150㎜角 下地ﾓﾙﾀﾙ別途	10.7	㎡			
床 磁器質ﾀｲﾙ	200角	5.4	㎡			
磁器質ﾀｲﾙ幅木	高さ75 200角	2.7	m			
ﾎﾞｰﾄﾞ面 磁器質ﾀｲﾙ幅木	高さ200 100角	18.7	m			
計						

米　子　市

一般工事（新営）　ふれあい棟　木（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　内部　）						
木製幅木	桧 厚21 高さ75 県産材	108	m			
胴縁組	杉 ﾖｺ 18×45 @303県産材	328	㎡			
胴縁組	杉 ﾖｺ 24×45 @303 杉 ﾀﾃ 24×45 @455　県産材	31.2	㎡			
壁合板張り	ﾗﾜﾝ1類 厚さ5.5 見え隠れ	218	㎡			
壁 縁甲板張り	桧 厚12 県産材 本実加工	69.7	㎡			
曲面壁 縁甲板張り	曲面 桧 厚12 県産材 本実加工	25.4	㎡			
壁 見切縁	桧 45×45 県産材	84.3	m			
壁出隅 竪見切縁	桧　30 x 30　県産材	49.5	m			
額縁	桧 120×25 県産材	73.1	m			
木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	杉 CLTﾊﾟﾈﾙ 150×100×24	33.9	m			
外部倉庫2　棚	W3080 x D600 x H2000	1	か所			
外部倉庫2　棚	W970 x D650 x H2000	1	か所			
外部倉庫3　棚	W3520 x D600 x H2000	1	か所			
多目的倉庫2 上部棚	W3455 x D430　W2141 x D430 W2150 x D300	1	か所			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　屋根

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　外部　）						
ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ	縦形ろく屋根用 ｱｽﾌｧﾙﾄ･ｼｰﾄ防水用 SGP 100A　張掛け幅 100	8	か所			
ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ	縦形ろく屋根用 75A 塗膜防水用	2	か所			
ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ	ﾊﾞﾙｺﾆｰ中継用　塗膜防水用 SGP 100A　張掛け幅 100	4	か所			
硬質塩ﾋﾞ竪樋 (ｶﾗｰVP) 掴金物共	φ75	6.9	m			
竪樋	ｶﾗｰｱﾙﾐ φ89	31.2	m			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　金属（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　外部　）						
屋根 ｱﾙﾐ笠木	W=250 既製品　カラー	58	m			
屋根 ｱﾙﾐ笠木（多角）	W=250 既製品　カラー	49	m			
屋根 ｱﾙﾐ笠木ｺｰﾅｰ加工	W=250 既製品　カラー	2	か所			
屋根 ｱﾙﾐ笠木ｺｰﾅｰ加工(直-R)	W=250 既製品　カラー	4	か所			
屋根 ｱﾙﾐ笠木ｺｰﾅｰ加工(鋭角)	W=250 既製品　カラー	1	か所			
ｱﾙﾐ庇	W=5000 D=1000 既製品	1	か所			
ｱﾙﾐ庇	W=4500 D=1100 既製品	1	か所			
ﾀﾗｯﾌﾟ（背かご付）	SUS製 ｽﾃｯﾌﾟ：φ19 W350 @360 支柱：φ48.6 かご：φ13 H=3200	1	か所			
鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ溝ふた	側溝用(枠付) 細目 歩行用 溝幅150	27.2	m			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) 1.0m以上2.5m未満 下地張りなし @300 ｲﾝｻｰﾄ別途	10.2	㎡			
（　内部　）						
水受け皿	SUS1.0　　860 x 490 x 30	1	か所			
水受け皿	SUS1.0　　950 x 490 x 30	1	か所			
ｽﾃﾝﾚｽ幅木	高さ100	41.5	m			
床材立上幅木取合金物	ｱﾙﾐ製	16.8	m			
薄型軽量鉄骨壁下地	ｳﾚﾀﾝ接着工法	22	㎡			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りなし @300	150	㎡			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	65.4	㎡			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 700×2000mm程度	1	か所			

一般工事（新営）　ふれあい棟　金属（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 750×2000㎜程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 850×2500㎜程度	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000㎜程度	2	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1000×2000㎜程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1200×2000㎜程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1250×2000㎜程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1300×2000㎜程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1350×2000㎜程度	1	か所			
軽量鉄骨壁開口部補強	65形 ﾀﾞｸﾄ等四方補強 600×600㎜程度	1	か所			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 ｲﾝｻｰﾄ含む	200	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 ｲﾝｻｰﾄ含む	211	㎡			
軽量鉄骨天井開口部補強　プロジェクター受け	19形(屋内)　300× 300㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強　換気扇類	19形(屋内)　300× 300㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	6	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強　天井点検口	19形(屋内)　450× 450㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	15	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強　照明器具	19形(屋内)　450× 450㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	10	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強　天井点検口	19形(屋内)　600× 600㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強　空調開口	19形(屋内)　900× 900㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	6	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強　吸気口	19形(屋内)　500× 200㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	3	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強　照明器具	19形(屋内)　150×1235㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	29	か所			
軽量鉄骨天井開口部補強	19形(屋内)　300×1200㎜程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	2	か所			

一般工事（新営）　ふれあい棟　金属（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床目地棒	ｽﾃﾝﾚｽ製 3×9	1.3	m			
ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ		11.2	m			
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	ステンレス製 ｼﾝｸﾞﾙ C型	15.6	m			
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	ステンレス製 ﾀﾞﾌﾞﾙ C型	18.3	m			
床点検口	屋内用　一般型充填用 ｱﾙﾐ製枠 ｱﾙﾐ目地　鍵無　600角	3	か所			
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製 内外枠共額縁 450角	15	か所			
天井点検口	一般ﾀｲﾌﾟ ｱﾙﾐ製 内外枠共額縁 600角	1	か所			
掃除道具掛　SUS ｔ1.2	ステンレスフック4か所	2	か所			
ﾀﾗｯﾌﾟ（足掛）	ｽﾃﾝﾚｽ製 8-31-1	16	か所			
計						

米　子　市

一般工事（新営）　ふれあい棟　左官（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　外部　）						
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 防水下地	591	㎡			屋根 床
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 防水下地	60.1	㎡			庇天端
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 防水下地	5.6	㎡			ﾊﾄ小屋天端
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 防水下地	1.8	㎡			機械基礎天端
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 防水下地	2.3	㎡			目隠しﾌｪﾝｽ基礎天端
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 防水下地 W=180	107	m			屋根立上り天端
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 防水下地	4.1	㎡			発電機基礎天端
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 防水下地	5.7	㎡			CB基礎天端
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ下地　厚22	4.9	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ下地　厚22	4.8	㎡			学童保育玄関
複層塗材 Si	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	310	㎡			外壁
複層塗材 Si	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	25.5	㎡			巾木
軒天 外装薄塗材 E	コンクリート面　砂壁状　ローラー塗 下地処理共	7.2	㎡			
軒天 外装薄塗材 E	ケイカル板面　砂壁状　ローラー塗 下地処理共	10.2	㎡			
庇軒裏 外装薄塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　砂壁状 ローラー塗 下地調整費(C-1)共	58.8	㎡			
建具周囲防水 ﾓﾙﾀﾙ充填	外部建具	240	m			
（　内部　）						
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 防水下地	75	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 薄張物下地	396	㎡			

一般工事（新営）　ふれあい棟　左官（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 薄張物下地	22.2	㎡			塗床
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　厚30	0.5	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて 一般ﾀｲﾙ下地　厚37	16.1	㎡			
床ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	厚10 ｾﾒﾝﾄ系	396	㎡			
壁ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて 内壁ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ下地　厚15	0.2	㎡			幅木下
内部学校間仕切建具周囲ロックウール充填	居室部分	68.5	m			
計						

米　子　市

一般工事（新営）　ふれあい棟　木製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　木製建具　）						
WD1片引ﾄﾞｱ	W700×H2000	1	か所			
WD2片引ﾄﾞｱ	W1300×H2000	1	か所			
金物費		1	式			
運搬建付費		1	式			
小計						
（トイレブース）						
TB1ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W1440×H1900	2	か所			
TB2ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W600×H1900	1	か所			
TB3ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W(1960+385)×H1900	1	か所			
TB4ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W(3020+1480×2)×H1900	1	か所			
TB5ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W1650×H1900	1	か所			
TB6ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W1000×H1900	2	か所			
TB7ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W500×H1900	1	か所			
TB8ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W955×H1900	1	か所			
TB9ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	W865×H1900	1	か所			
運搬建付費		1	式			
小計						
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　金属製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（アルミ製建具）						
AWD1嵌殺ﾗﾝﾏ付引違ﾄﾞｱ	W2000×H2760 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AWD2嵌殺袖付片引ﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ	W2940×H2200 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AWD3引違いﾗﾝﾏ付引違ﾄﾞｱ	W2270×H2660 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AWD4引違ﾗﾝﾏ･嵌殺袖付片引ﾄﾞｱ	W3070×H2660 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AD1両開きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ	W1200×H2000	1	か所			
AD2小窓付きﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ	W700×H2000	2	か所			
AD3引違ﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ	W2000×H2000	3	か所			
AD4 4枚建ﾌﾗｯｼｭﾄﾞｱ	W3600×H2000	1	か所			
AW1引違窓付嵌殺窓	W3010×H2760 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AW2堅すべり出窓付嵌殺窓	W3120×H2760 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AW3片開ﾄﾞｱ付嵌殺窓	W3130×H2760 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AW4堅すべり出し窓付嵌殺窓	W3200×H2760 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AW4A堅すべり出し窓付嵌殺窓	W3280×H2760 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AW4B堅すべり出し窓付嵌殺窓	W3140×H2760 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AW5嵌殺ﾗﾝﾏ付上げ下げ窓	W500×H1560	6	か所			
AW6引違ﾗﾝﾏ付嵌め殺し窓	W2270×H2660 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
AW7嵌殺ﾗﾝﾏ付上げ下げ窓	W500×H1310	1	か所			
AW8　嵌め殺し袖・片引き戸付2段8連引違窓	W15620×H2760 ｷｯｸﾌﾟﾚｰﾄ共	1	か所			
運搬費		1	式			

一般工事（新営）　ふれあい棟　金属製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
取付調整費		1	式			
現場シーリング費		1	式			
設計費		1	式			
諸経費		1	式			
法定福利費		1	式			
小計						
（鋼製建具）						
SD1片開点検ﾄﾞｱ	W600×H600	1	か所			
SD2両開点検ﾄﾞｱ	W1200×H2000	1	か所			
工事費		1	式			
搬入費		1	式			
設計費		1	式			
諸経費		1	式			
小計						
（軽量鋼製建具）						
LSD1二重引き引ﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ　壁付	W850×H2000	1	か所			
LSD2片引ﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ(2連ﾎﾟｹｯﾄ)壁付	W900×H2000	2	か所			
LSD3片引ﾊﾝｶﾞｰﾄﾞｱ壁付	W900×H2000	1	か所			
LSD5両開き親子ﾄﾞｱ	W1250×H2000	1	か所			
LSD6片開戸	W750×H2000	1	か所			

一般工事（新営）　ふれあい棟　金属製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
LSD7両開き親子ﾄﾞｱ	W1350×H2000	1	か所			
LSD8 嵌め殺しランマ付 両開き親子ﾄﾞｱ	W2000×H2670	1	か所			
養生運搬費		1	式			
取付費		1	式			
小計						
（鋼製三方枠）						
ST1 三方枠	W1300×H2000	1	か所			
ST2 三方枠	W1200×H2000	1	か所			
工事費		1	式			
搬入費		1	式			
設計費		1	式			
諸経費		1	式			
小計						
（学校間仕切）						
SP1学校間仕切	W1890×H2700	1	か所			
SP2学校間仕切	W3150×H2700	6	か所			
SP3学校間仕切	W1890×H2700	1	か所			
SP4学校間仕切	W850×H2500	2	か所			
養生運搬費		1	式			
取付費		1	式			

一般工事（新営）　ふれあい棟　金属製建具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
小計						
（スライディングウオール）						
SLW1ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ	W7800×H2800	1	か所			
工事費		1	式			
搬入費		1	式			
作図		1	式			
諸経費		1	式			
小計						
（木製建具三方枠）						
WD1 ｽﾁｰﾙ三方枠	W700×H2000	1	か所			
WD2 ｽﾁｰﾙ三方枠	W1300×H2800	1	か所			
養生運搬費		1	式			
取付費		1	式			
小計						
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　ガラス

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　外部　）						
パネル施工費		9.5	㎡			
強化ｶﾞﾗｽ	厚さ 4㎜ 平面 2.0㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	0.3	㎡			
網入型板ｶﾞﾗｽ	厚さ6.8 特寸 2.18㎡以下 ひし ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	0.1	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	強化LowE4+A6+強化T4 特寸 2.0㎡以下 清掃共	83.2	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	強化LowE5+A6+強化T5 特寸 2.0㎡以下 清掃共	20.6	㎡			
複層ｶﾞﾗｽ	強化LowE5+A6+強化T5 特寸 4.0㎡以下 清掃共	4.4	㎡			
ｶﾞﾗｽ留ｼｰﾘﾝｸﾞ	SR-1　8×6	6.8	m			
ｶﾞﾗｽ留ｼｰﾘﾝｸﾞ	SR-1　8×10	956	m			
ｶﾞﾗｽ留ｼｰﾘﾝｸﾞ	防火用SR-1　8×6	2	m			
衝突防止表示	ｽﾃﾝﾚｽ製 径30 両面	140	か所			
目隠しﾌｨﾙﾑ貼り		4.5	㎡			
（　内部　）						
強化ｶﾞﾗｽ	厚さ 4㎜ 平面 2.0㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	29.7	㎡			
型板強化ｶﾞﾗｽ	厚さ 4㎜ 平面 1.8㎡以下 ｼｰﾘﾝｸﾞ　清掃共	0.8	㎡			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　塗装（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　内部　）						
床 防塵塗装	水性ｱｸﾘﾙ系樹脂塗材 ｺﾝｸﾘｰﾄ面	22.2	㎡			
幅木 防塵塗装	高さ100 水性ｱｸﾘﾙ系樹脂塗材 ｺﾝｸﾘｰﾄ面	17	m			
幅木 防塵塗装	高さ100 水性ｱｸﾘﾙ系樹脂塗材 ｹｲｶﾙ板面	18.6	m			
ＯＳ塗り	木部　素地B種	105	㎡			
ＯＳ塗り （糸幅300㎜以下）	木部　素地B種	265	m			
ＳＯＰ塗り	鋼製建具面 塗料1種 錆止工程A塗料A	16.7	㎡			
計						

米　子　市

一般工事（新営）　ふれあい棟　内外装（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　外部　）						
天井　けい酸カルシウム板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 6 目透かし	10.2	㎡			
天井廻縁	ｱﾙﾐ製	19.7	m			
屋上設備基礎ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ打込	3種b	1	か所			
（　内部　）						
OAﾌﾛｱｰ	H=75	8.4	㎡			
OAﾌﾛｱｰﾎﾞｰﾀﾞｰ	H=75	11.7	m			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ﾏｰﾌﾞﾙ 厚さ2.0 織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部 熱溶接工法	8.3	㎡			
木目ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.0 木目 不織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部 熱溶接工法	209	㎡			
木目・防滑・エンボス　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.0 木目・防滑・エンボス 不織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部 熱溶接工法	126	㎡			
多湿防滑抗菌ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	無地 厚さ2.0 防滑･抗菌 不織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部　熱溶接工法	32.8	㎡			
床ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ	総厚6.5 500角 1種ﾙｰﾌﾟﾊﾟｲﾙ 一般事務室用	8.4	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ幅木	高さ75	24.1	m			
床材立上幅木 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	高さ75 無地 厚さ2.0 防滑･抗菌 不織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部　熱溶接工法	2.5	m			
耐火間仕切壁	LGS65@455+GB-Ft21+21(両面) ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填t50 24kg/m3	209	㎡			
耐火間仕切壁開口部補強	65形 扉等三方補強 900×2000mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁開口部補強	65形 扉等三方補強 1890×2700mm程度	1	か所			
耐火間仕切壁開口部補強	65形 扉等三方補強 3150×2700mm程度	6	か所			
耐火間仕切ｼｰﾘﾝｸﾞ	告示仕様	528	m			
遮音間仕切ｼｰﾘﾝｸﾞ	告示仕様	352	m			

一般工事（新営）　ふれあい棟　内外装（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　突付け -　-	0.3	㎡			幅木下
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚 9.5　準不燃 RC､CB直張り　突付け 下張GB-R　厚12.5共	0.2	㎡			幅木下
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚 9.5　準不燃 RC､CB直張り　継目処理 下張GB-R　厚12.5共	7.9	㎡			GL
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚 9.5　準不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 下張GB-R　厚12.5共	11.3	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　下地張り -　-	15.1	㎡			GL
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　突付け -　-	9.1	㎡			GL
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 下地張り -　-	189	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　-	9.3	㎡			幅木下GL
壁　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 6 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　-	78.3	㎡			
壁 化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚6 硬質抗菌ﾀｲﾌﾟ 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地　目透かし	173	㎡			
ｸﾛｽ下耐火間仕切 継目処理加算		31.4	㎡			
外壁面壁 現場発 泡ｳﾚﾀﾝ吹付	t30	345	㎡			
壁 吸音掲示ｸﾛｽ	合板面	68.1	㎡			
壁 吸音掲示ｸﾛｽ	ﾎﾞｰﾄﾞ面	150	㎡			
掲示クロス	軽量鋼製面	17.7	㎡			
掲示クロス	学校間仕切面	131	㎡			
壁 無機質ｸﾛｽ	ﾎﾞｰﾄﾞ面	43.1	㎡			
壁 調整ﾊﾟｯｷﾝ	樹脂製 t6程度	31.2	㎡			
遮音壁壁 ﾛｯｸｳｰﾙ 充填	t50 200kg/m3	164	㎡			
天井　化粧 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-D)	厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	44	㎡			

一般工事（新営）　ふれあい棟　内外装（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
天井 化粧吸音せっこうﾎﾞｰﾄﾞ張り	厚9.5 準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	156	㎡			
天井 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板張り(DR)	ﾌﾗｯﾄ内部用 厚9 不燃 下張GB-R 厚9.5共	211	㎡			
天井　アルミ熱反射シート	t 4.0	211	㎡			
天井ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填	t100 24kg/m3	211	㎡			
面台	ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ t20 W180	7.6	m			
壁見切縁	ｱﾙﾐ製	2.5	m			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	119	m			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製(吸振)	212	m			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　ユニット（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　外部　）						
目隠しﾌｪﾝｽ	ｶﾗｰｱﾙﾐﾙｰﾊﾞｰ目隠しﾌｪﾝｽ	83.2	㎡			
U形側溝	150　－　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	3	m			
小計						
（　内部　）						
1F 給湯室ﾐﾆｷｯﾁﾝ	W1200 IHｺﾝﾛ 混合水栓	1	か所			
1F 女子職員WC棚板	ﾒﾗﾐﾝ化粧板 W850×D250 t20	1	か所			
消火器ﾎﾞｯｸｽ	埋込ﾀｲﾌﾟ ABC10型用	1	か所			
小計						
ホワイトボード						
上下ｽﾗｲﾄﾞ式ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	W3600 ｽｸﾘｰﾝ兼用	1	か所			
小計						
カーテン						
ふれあい棟AW1 遮光ｶｰﾃﾝ	W3010×H2760	1	か所			
ふれあい棟AW2 遮光ｶｰﾃﾝ	W3120×H2760	1	か所			
ふれあい棟AW3 遮光ｶｰﾃﾝ	W2040×H2760	1	か所			
ふれあい棟SP-1,3 遮光ｶｰﾃﾝ	W1890×H2760	2	か所			
ふれあい棟SP-2 遮光ｶｰﾃﾝ	W3150×H2760	2	か所			
ふれあい棟AW8 ｶｰﾃﾝ	W7810×H2760	2	か所			
小計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　ユニット（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
サイン						
アクリル室名札AS-1	正面付　W200xH200　文字	1	か所			
木製室名札AS-2	正面付　W200xH200　ピクト	1	か所			
アクリル室名札AS-2	正面付　W200xH200　ピクト	3	か所			
木製室名札AS-3	側面付　W200xH200　文字	3	か所			
木製室名札AS-4	側面付　W200xH200　ピクト	2	か所			
カッティグシートCS-1	W200xH40　文字	5	か所			
カッティグシートCS-2	W200xH40　ピクト	3	か所			
トイレシルエット	W350xH1922　アクリル複合版+UVプリント＋カッティングシート	1	か所			
棟名　SUSチャンネル文字	啓成ふれあい棟　W700xH80	1	か所			
小計						
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　家具（なかよし学級を除く）

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
F-1	ふれあい玄関　下足入	1	か所			
F-2	啓成ふれあいコーナー　掃除具入	1	か所			
F-3	通用口1・2　手洗い（ＳＵＳ）	2	か所			
F-15, 16	職員ＷＣ　手洗い	2	か所			
小計						
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟（なかよし学級）　石工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
上り框	御影石 100×40 本磨き	2.5	m			
上り框	御影石 100×120 本磨き	2.1	m			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟（なかよし学級）　タイル

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ﾀｲﾙ張り	一般床ﾀｲﾙ張 Ⅰ類　無ゆう 150㎜角 下地ﾓﾙﾀﾙ別途	5.3	㎡			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟（なかよし学級）　木

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
木製幅木	桧 厚21 高さ75 県産材	18.4	m			
畳寄せ	杉 55×30県産材	9.9	m			
1F なかよし学級 着脱上り框	タモ集成	4.5	m			
壁合板張り	ｼﾅ1類 厚さ5.5 見え掛り	18.3	㎡			
壁合板張り	ﾗﾜﾝ1類 厚さ5.5 見え隠れ	6.9	㎡			
壁 縁甲板張り	桧 厚12 県産材 本実加工	34.9	㎡			
壁 見切縁	桧 45×45 県産材	47.2	m			
壁出隅 竪見切縁	桧　30ｘ30　県産材	15	m			
木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ	杉 CLTﾊﾟﾈﾙ 150×100×24	10.6	m			
なかよし倉庫　棚	W645ｘD500	1	か所			
なかよし倉庫　棚	W875ｘD500　　W765ｘD370	1	か所			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟（なかよし学級）　金属

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 ｲﾝｻｰﾄ含む	30.5	㎡			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 ｲﾝｻｰﾄ含む	113	㎡			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　450× 450mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	6	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　450× 450mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	10	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　600× 600mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	1	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強	19形(屋内)　900× 900mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	3	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強　吸気口	19形(屋内)　400× 200mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	2	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強　照明器具	19形(屋内)　150×1235mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	19	か所			
軽量鉄骨天井 開口部補強　照明器具	19形(屋内)　220×1235mm程度 ﾎﾞｰﾄﾞ等切込み共	2	か所			
床点検口	屋内用　一般型充填用 ｱﾙﾐ製枠 ｱﾙﾐ目地　鍵無　600角	1	か所			
ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ	ステンレス製 ｼﾝｸﾞﾙ C型	10.6	m			
1F なかよし学級 荷物掛ﾌｯｸ	しずく受共	9.1	m			
1F なかよし玄関 ｶｯﾊﾟ掛け		2	m			
くつずり	ｽﾃﾝﾚｽ製 厚さ2.0 幅40	18.8	m			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟（なかよし学級）　左官

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 防水下地	111	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	一般床ﾀｲﾙ下地　厚37	5.3	㎡			
床ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	厚10 ｾﾒﾝﾄ系	111	㎡			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟（なかよし学級）　塗装

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ＯＳ塗り	木部　素地B種	129	㎡			
ＯＳ塗り （糸幅300㎜以下）	木部　素地B種	65.6	m			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟（なかよし学級）　内外装

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
木目ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.0 木目 不織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 一般床 熱溶接工法	86.2	㎡			
シート下クッションシート敷き	t＝3.0	86.2	m			
ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	ﾏｰﾌﾞﾙ 厚さ2.0 織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部 熱溶接工法	3.1	㎡			
木目・防滑・エンボス　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.0 木目・防滑・エンボス 不織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部 熱溶接工法	7.7	㎡			
防滑抗菌ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	厚さ2.0 木目・防滑・エンボス 不織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部 熱溶接工法	3.3	㎡			
多湿防滑抗菌ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	無地 厚さ2.0 防滑･抗菌 不織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部　熱溶接工法	7.8	㎡			
琉球畳敷き	厚55 900×900	15	か所			
畳下床 合成樹脂発泡ｼｰﾄ張り	t=4.5	12.2	㎡			
ﾋﾞﾆﾙ幅木	高さ75	8.8	m			
厚型木彫巾木	H45	11	m			
床材立上幅木 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ	高さ75 無地 厚さ2.0 防滑･抗菌 不織布積層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄFS 多湿部　熱溶接工法	14.4	m			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　下地張り -　-	7.5	㎡			GL
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 下地張り -　-	87	㎡			
壁 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-R)	厚 9.5　準不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 下張GB-R　厚12.5共	5.2	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 RC､CB直張り　突付け -　-	8.7	㎡			GL
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 下地張り -　-	10.8	㎡			
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 突付け -　-	1.2	㎡			幅木下GL
壁　ｼｰｼﾞﾝｸﾞ せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-S)	厚12.5　不燃 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地 継目処理 -　-	16.2	㎡			
壁 化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚6 硬質抗菌ﾀｲﾌﾟ 鋼製､木､ﾎﾞｰﾄﾞ下地　目透かし	35.7	㎡			
壁 吸音掲示ｸﾛｽ	合板面	2.3	㎡			

一般工事（新営）　ふれあい棟（なかよし学級）　内外装

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁 吸音掲示ｸﾛｽ	ﾎﾞｰﾄﾞ面	4.6	㎡			
壁 無機質ｸﾛｽ	ﾎﾞｰﾄﾞ面	28.9	㎡			
天井　化粧 せっこうﾎﾞｰﾄﾞ 張り(GB-D)	厚 9.5　準不燃 ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ 突付け	30.5	㎡			
天井 ﾛｯｸｳｰﾙ化粧 吸音板張り(DR)	ﾌﾗｯﾄ内部用 厚9 不燃 下張GB-R 厚9.5共	113	㎡			
天井　アルミ熱反 射シート	t 4.0	113	㎡			
天井ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填	t100 24kg/m3	113	㎡			
面台	ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ t20 W180	1	m			
壁見切縁	ｱﾙﾐ製	7.5	m			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製	32	m			
天井廻縁	塩化ﾋﾞﾆﾙ製(吸振)	56.5	m			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟（なかよし学級）　ユニット

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（　内部　）						
1F なかよし給湯室ﾐﾆｷｯﾁﾝ	W1500 IHｺﾝﾛ 混合水栓	1	か所			
小計						
ホワイトボード						
ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	W1800×H900 行事用	1	か所			
ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ	W1800×H1200	1	か所			
小計						
カーテン						
なかよし学級AW3 ｶｰﾃﾝ	W1020×H1860	1	か所			
なかよし学級AW4 ｶｰﾃﾝ	W3200×H1860	1	か所			
なかよし学級AW4A ｶｰﾃﾝ	W3280×H1860	1	か所			
ふれあい棟AW4B ｶｰﾃﾝ	W3140×H1860	1	か所			
小計						
サイン						
木製室名札AS-1	正面付　W200xH200　文字	1	か所			
木製室名札AS-2	正面付　W200xH200　ピクト	2	か所			
カッティグシートCS-1	W200xH40　文字	1	か所			
棟名　SUSチャンネル文字	啓成なかよし学級　　W1420xH150	1	か所			
小計						
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟（なかよし学級）　家具

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
F-4	なかよし学級　腰掛収納	1	か所			
F-5	なかよし学級　ロッカー	1	か所			
F-6	なかよし学級　ロッカー	1	か所			
F-7	なかよし学級　手洗い（ＳＵＳ）	1	か所			
F-8	なかよし学級　カウンター	1	か所			
F-9	なかよし学級　棚	1	か所			
F-10	なかよし学級　棚	1	か所			
F-11	なかよし学級　ロッカー	1	か所			
F-12	なかよし学級　収納	1	か所			
F-13	なかよし玄関　下足入	1	か所			
F-14	給湯室　食器棚	1	か所			
F-17	なかよし学級　収納	1	か所			
計						

一般工事（新営）　大屋根　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0010
墨出し		1	式			別紙 00-0011
養生		1	式			別紙 00-0012
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0013
外部足場		1	式			別紙 00-0014
災害防止		1	式			別紙 00-0015
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0016
計						

一般工事（新営）　大屋根　土工

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り	つぼ,布掘り 深さ2.5m程度	161	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	24	m3			
床付け	つぼ,布掘り	36	m²			
杭間ざらい	既製ｺﾝｸﾘｰﾄ杭　φ350～600mm	7	本			
積み込み		51	m3			
場内仮置き	杭残土　場内運搬共	51	m3			
積み込み		51	m3			
埋戻し	つぼ掘り及び布掘り ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3 A種（山砂の類）	24.7	m3			
埋戻し(B種)	-　　発生土	51	m3			杭残土利用
積み込み		161	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　土砂 DID区間無し 22.5km以下	161	m3			
計						

一般工事（新営）　大屋根　地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	29	m3			
計						

一般工事（新営）　大屋根　既製コンクリート杭地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
材料費		1	式			別紙 00-0041
杭下ろし費		1	式			
施工費		1	式			別紙 00-0042
計						

一般工事（新営）　大屋根　鉄筋

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
異形鉄筋	SD295A D10	0.1	t			
異形鉄筋	SD295A D13	4.9	t			
異形鉄筋	SD345 D22	1.9	t			
鉄筋加工組立	RCﾗｰﾒﾝ構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	6.9	t			
鉄筋運搬費	10ｔ車 30km程度	6.9	t			
鉄筋ｶﾞｽ圧接	D22 -D22	48	か所			
スクラップ	H2	-0.11	t			
計						

一般工事（新営）　大屋根　コンクリート

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　18-15-20N	1	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎部　24-15-20N 構造強度補正S+3	32	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	土間　24-15-20N 構造強度補正S+3	47	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 基本料金	50m3/回以下	4	回			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ 圧送	50m3/回を超える 基本料金別途加算	80	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 -　圧送費、基本料別途	32	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 30m3/回程度　S15～S18 -　圧送費、基本料別途	1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回程度　S15～S18 -　圧送費、基本料別途	47	m3			
ｴﾗｽﾀｲﾄ	材工共 厚さ25mm 幅150mm	54.2	m			
計						

一般工事（新営）　大屋根　型枠

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
メッシュ型枠（運搬費込み）		191	㎡			
普通型枠	小型構造物	7	㎡			
型枠廃材処分費		2.3	㎡			
型枠運搬費	10ｔ車 30km程度 往復	7	㎡			
計						

一般工事（新営）　大屋根　タイル

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
啓成の大屋根広場 床 タイル張り	木目調タイル貼 下地モルタル別途	298	㎡			
計						

米　子　市

一般工事（新営）　大屋根　左官

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて ｴﾆｯﾄﾀｲﾙ下地　厚22	298	㎡			
計						

米　子　市

一般工事（新営）　大屋根　屋根

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
屋根 縦葺き	フッ素鋼板　厚0.4　@333 縦さざ波付	202	㎡			
縦葺き ｺﾞﾑｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ	t=1.0	202	㎡			
縦葺き 下地材	t=25 不燃木毛セメント板	202	㎡			
軒先化粧キャップ	屋根同材	76.8	m			
軒先唐草	屋根同材加工	76.8	m			
ｹﾗﾊﾞ唐草	屋根同材加工	13.4	m			
軒先水切り	屋根同材加工	76.8	m			
ｹﾗﾊﾞ水切り	屋根同材加工	13.4	m			
鼻隠し	H=180 フッ素鋼板 t=0.4加工	167	m			
鼻隠し下地	不燃木毛セメント板 t=25 H=180	167	m			
破風	H=180 フッ素鋼板 t=0.8加工	13.4	m			
破風下地	不燃木毛セメント板 t=25 H=180　多角仕上	13.4	m			
雪止め	L-50×50×4 亜鉛ﾒｯｷ ｽﾃﾝﾚｽ取付金具(@333)共	64.2	m			
雪止　落雪防止ネット	亜鉛メッキ鋼線Ｄ600	64.2	m			
水上部　段葺き用金具	SUS製塗装品　フック付き	64.2	m			
千鳥@303　フック　A-3	5φ　落雪防止ネット専用線	64.2	m			
軒先金具　@333　BB-20A	ｔ＝1.6　ガルバリウム鋼板上塗装品	64.2	m			
ｱﾙﾐ軒樋	アルミ製既製品　9号	64.2	m			
自在ﾄﾞﾚﾝ	75φ	6	か所			
ｱﾙﾐ竪樋	φ89	33	m			

一般工事（新営）　大屋根　屋根

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
資材荷揚費		1	式			
資材運搬費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						

一般工事（新営）　大屋根　金属

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ溝ふた	側溝用(枠付) 細目 T-2 溝幅150	4.5	m			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) 1.0m以上2.5m未満 下地張りなし @300 ｲﾝｻｰﾄ別途	199	㎡			
柱脚SUS巻き	H100　267φ	6	か所			
計						

一般工事（新営）　大屋根　塗装

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨部 ＤＰ塗り	亜鉛ﾒｯｷ鋼 1級(ﾌｯ素) 素地ごしらえ、錆止め共	192	㎡			
軒天 ＤＰ塗り	ｹｲｶﾙ板面 1級(ﾌｯ素) 下地調整費(C-1)共	199	㎡			
計						

一般工事（新営）　大屋根　内外装

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
壁　けい酸 ｶﾙｼｳﾑ板張り	ﾀｲﾌﾟ2(ﾉﾝｱｽ)0.8FK 厚 6 鋼製、木、ﾎﾞｰﾄﾞ下地 目透かし -　　-	199	㎡			
計						

米　子　市

一般工事（新営）　大屋根　ユニット・その他

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
U字溝	W=150	4.5	m			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0017
墨出し		1	式			別紙 00-0018
養生		1	式			別紙 00-0019
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0020
外部足場		1	式			別紙 00-0021
災害防止		1	式			別紙 00-0022
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0023
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　土工

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り	つぼ,布掘り 深さ2.5m程度	110	m3			
すきとり	積み込み共 H300程度	21	m3			
床付け	つぼ,布掘り	53	㎡			
埋戻し	つぼ掘り及び布掘り ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 A種（山砂の類）	64	m3			
積み込み		1,331	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　土砂 DID区間無し 22.5km以下	131	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
計						

米　子　市

一般工事（新営）　渡り廊下　地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	21	m3			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　鉄筋

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
異形鉄筋	SD295A D10	0.8	t			
異形鉄筋	SD295A D13	2.6	t			
異形鉄筋	SD295A D16	1.1	t			
鉄筋加工組立	RCﾗｰﾒﾝ構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純	4.5	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　30km程度	4.5	t			
スクラップ	H2	-0.12	t			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　コンクリート

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　18-15-20N	3	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	基礎部　24-15-20N 構造強度補正S+3	17	m3			
普通ｺﾝｸﾘｰﾄ	土間　24-15-20N 構造強度補正S+3	25	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 基本料金	50m3/回以下	4	回			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ 圧送	50m3/回を超える 基本料金別途加算	42	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 30m3/回程度　S15～S18 -　圧送費、基本料別途	3	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 -　圧送費、基本料別途	17	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回程度　S15～S18 -　圧送費、基本料別途	25	m3			
ｴﾗｽﾀｲﾄ	材工共 厚さ25mm 幅150mm	2.9	m			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　型枠

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
メッシュ型枠 （運搬費込み）		87	㎡			
型枠	普通合板型枠 -　基礎部 -	15	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	15	㎡			
型枠廃材処分費		5	㎡			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　タイル

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床タイル (階段用タイル張り)	垂れ付き段鼻 Ⅰ類　無ゆう 100㎜角 下地モルタル別途	53.2	m			
計						

米　子　市

一般工事（新営）　渡り廊下　屋根

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
屋根 折板葺き	フッ素鋼板　厚0.8 H=90	246	㎡			
タイトフレーム	亜鉛ﾒｯｷ	148	m			
妻用タイトフレーム		12	か所			
ケラバ包	フッ素鋼板T0.8 下地アングル(亜鉛ﾒｯｷ)共	14.6	m			
化粧フレーム		124	m			
雪止め	L-50×50×4 亜鉛ﾒｯｷ ｽﾃﾝﾚｽ取付金具(@300)共	61.7	m			
軒樋	塩ビ　角型(前高)120X75	61.8	m			
硬質塩ﾋﾞ竪樋 (ｶﾗｰVP) 　掴金物共	φ75	31.6	m			
落とし口		9	か所			
資材荷揚げ費		1	式			
資材運搬費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　金属

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ＳＵＳ手摺		27.6	m			
鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ W100用（枠共）	歩行用　細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ	1.8	m			
中継用ﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝ	φ125	1	か所			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　50A	1.2	m			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　左官

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	185	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	直均し仕上げ -	6.6	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ箒目仕上げ		6.6	㎡			
階段ﾓﾙﾀﾙ塗り	ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　厚30	22.3	㎡			
側溝ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて 糸幅200	1.8	m			
笠木天端ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 幅300	33.1	m			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　厚30	11.1	㎡			
床誘発目地	W10	40.6	m			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　塗装

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床 防塵塗装	水性ｱｸﾘﾙ系樹脂塗材 ｺﾝｸﾘｰﾄ面	193	㎡			
鉄骨部 ＤＰ塗り	亜鉛ﾒｯｷ鋼 1級(ﾌｯ素) 素地ごしらえ、錆止め共	238	㎡			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　撤去工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30mm	65.9	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ類 集積、積込み	機 械	9.5	m3			
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ解体	ハンドブレーカー	9.5	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間無し　6.0km以下	9.5	m3			
計						

米　子　市

一般工事（新営）　外構　舗装

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
すきとり	積み込み共 H300程度	385	m3			舗装下
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.8m3　土砂 DID区間無し 22.5km以下	385	m3			
地先境界ﾌﾞﾛｯｸ	120×120×L600　基礎共	249	m			
両面歩車道 境界ﾌﾞﾛｯｸA	150/200×200×L600　基礎共 G-02図	118	m			
車止め-1	PC駐車ﾌﾞﾛｯｸ　120×200×L600程度 ｱﾝｶｰ+接着剤固定式	70	か所			
車止め-2	再生ゴムチップ　φ130ｘH800 基礎：300角×H250/砕石ｔ50 G-02図	35	か所			
プール、校舎間 床 ﾀｲﾙ張り	木目調ﾀｲﾙ貼 下地ﾓﾙﾀﾙ別途	35.5	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	木ごて ﾕﾆｯﾄﾀｲﾙ下地　厚22	35.5	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	7.1	㎡			
誘導用及び 注意喚起用床材	点字ﾌﾞﾛｯｸ ﾚｼﾞﾝｺﾝｸﾘｰﾄ製 300×300 厚さ30	9.8	㎡			
計						

一般工事（新営）　外構　囲障

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
門柱A	RC造　円錐型　φ1600×H1600 丸豆砂利洗い出し仕上げ	4	か所			
門塀	壁ｔ340×H650～1250（平均950） /底板W800×H200 ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ模様貼り	57	m			
円形車止め	400φ　ポラード同等	9	か所			
メッシュフェンス H=1200	基礎共 朝日ｽﾁｰﾙ工業：UNﾌｪﾝｽA型ｶﾗｰ同等品	149	m			
ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ扉	W1700xH1800 朝日ｽﾁｰﾙ工業：UNﾌｪﾝｽA型ｶﾗｰ同等品	1	か所			
ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ扉	W1700xH1200 朝日ｽﾁｰﾙ工業：UNﾌｪﾝｽA型ｶﾗｰ同等品	1	か所			
（ﾊﾞﾙｸ基礎部）ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ	H=1000　基礎天端に設置 *支柱部ﾓﾙﾀﾙ充填共（標準@2.0m 朝日ｽﾁｰﾙ工業：UNﾌｪﾝｽA型ｶﾗｰ同等品	11.2	m			
（ﾊﾞﾙｸ基礎部）ﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ扉	W1200×H=1000　基礎天端に設置 *支柱部ﾓﾙﾀﾙ充填共 朝日ｽﾁｰﾙ工業：UNﾌｪﾝｽA型ｶﾗｰ同等品	2	か所			
手摺	Ｈ＝750	6.1	m			
手摺基礎	200ｘ400	6.1	m			
スロープ取合擁壁	150ｘ400	3	m			
計						

一般工事（新営）　外構　雨水排水

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
雨水桝A（現場打ち）	内寸400角×h640+150/外寸640角×H910 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋400角用（500角）T-2細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共　G-02図　代価-4（1か所	1	か所			
雨水桝B（現場打ち）	内寸300角×h480+150/外寸540角×H750 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋300角用（400角）T-2細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共	1	か所			
雨水桝E（既製品）	内寸300角×h800/外寸520角×H8000 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋300角用（400角）T-2細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共	1	か所			
雨水桝F（現場打ち）	内寸600角×h460+150/外寸840角×H730 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋600角用 （700角）T-2細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 代価-6（1か所あたり）	1	か所			
雨水桝G（現場打ち）	内寸400角×h450+150/外寸640角×H720 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋400角用 （500角）T-20細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共	1	か所			
雨水桝H（現場打ち）	内寸500角×h500+150/外寸740角×H770 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋500角用 （600角）T-20細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共	1	か所			
雨水桝I（現場打ち）	内寸500角×h650+150/外寸740角×H920 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋500角用 （600角）T-20細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共	1	か所			
雨水桝J（現場打ち）	内寸400角×h460+150/外寸640角×H720 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋400角用 （500角）T-14細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共	1	か所			
雨水桝K（現場打ち）	内寸400角×h405+150/外寸640角×H675 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋400角用 （500角）T-14細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共	1	か所			
雨水桝L（現場打ち）	内寸400角×h500+150/外寸640角×H770 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋400角用 （500角）T-20細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共	1	か所			

一般工事（新営）　外構　雨水排水

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
雨水桝O（既製品）	内寸300角×h900/外寸520角×H900 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋400角用（500角） T-2細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共	1	か所			
雨水桝P（既製品）	内寸300角×h700/外寸520角×H700 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋400角用（500角） T-2細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 受枠共	1	か所			
（駐車場出入口道路境界部）U型側溝ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	落ち蓋式U型側溝　300A　3種 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	12	m			
（駐車場出入口道路境界部）U型側溝ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋	鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋　W=300用 T-14細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様 亜鉛ﾒｯｷ品	12	m			
（体育館棟）U型側溝グレーチング蓋	W=300用　歩行用	3	枚			
自由勾配側溝 校庭側縦断	呼び名300ｘ700/外寸520ｘ850程度	112	m			
自由勾配側溝 校庭側縦断用	呼び名300ｘ600/外寸720ｘ750程度	37.6	m			
自由勾配側溝 校庭側横断用	呼び名300ｘ600/外寸720ｘ750程度	6	m			
自由勾配側溝用グレーチング	T-20　横断用細目W300用　L=1.0	2	枚			
自由勾配側溝用グレーチング	歩道用細目　W300用　L=1.0	7	枚			
自由勾配側溝用ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋　W300用	車道用	2	枚			
自由勾配側溝用ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋　W300用	歩道用	118	枚			
自由勾配側溝 東側縦断	呼び名300ｘ600/外寸520ｘ750程度 側溝蓋：スチール製グレーチング蓋 W300用細目　亜鉛メッキ品（側溝1m当たり0.5m換算）	88.6	m			
自由勾配側溝 東側横断	呼び名300ｘ600/外寸520ｘ750程度 側溝蓋：スチール製グレーチング蓋 W300用　細目亜鉛メッキ品（側溝1m当たり0.5m換算）	16	m			
（体育館棟）U型側溝	落ち蓋式U型側溝　300A　1種 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	18.2	m			
（体育館棟）U型側溝ｺﾝｸﾘｰﾄ蓋	W=300用	16.7	m			

一般工事（新営）　外構　雨水排水

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
化粧鉄蓋	350 x 350	7	ヶ所			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)	地中配管　150A	14	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)	地中配管　200A	10.2	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)	地中配管　250A	36.4	m			
防火水槽吸管投入れ口嵩上	防火水槽用鉄蓋取り換え	1	か所			
計						

一般工事（新営）　外構　植栽

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
花壇	3600×1500　植栽桝用ﾌﾞﾛｯｸ 180×150×L600/腐葉土H250	6	か所			
計						

一般工事（新営）　外構　その他

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
（校舎棟側）足洗1	W2395×D1343/897×H650	1	か所			
（校舎棟側）足洗2	W2795×D1350×H800	1	か所			
ﾊﾞﾙｸﾀﾝｸ基礎	4600×2800×H300 *ﾌｪﾝｽは別 計上（囲障工事）	1	か所			
ハートフル駐車場表示看板	300ｘ300　SUS支柱　基礎共	1	か所			
車イス駐車場表示看板	300ｘ300　SUS支柱　基礎共	1	か所			
防火水槽表示看板	アルミ製600φ　フェンス取付	1	か所			
ﾍﾞﾝﾁ	座板：人工木材L1500/1310×D400 （133×26）×6面 基礎：200×400×H485×2*6=12基 G-04図　代価-16（1か所あたり）	1	か所			
計						

一般工事（新営）　外構　敷地外工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
歩道切り下げ工事許可申請手続手間	道路管理者・所轄警察署	1	式			
歩道切り下げ工事安全設備費	工事看板・養生敷き鉄板・立ち入り禁止柵・夜間照明等	1	式			
（敷地東側公道水路上部）ｺﾝｸﾘｰﾄ床板掛け　Ｔ－4	ｺﾝｸﾘｰﾄ床板：1400×1000×ｔ125×6枚 基礎：L6400×400×H500×2基	1	か所			
（敷地東側公道水路上部）ｺﾝｸﾘｰﾄ床板掛け　Ｔ－14	ｺﾝｸﾘｰﾄ床板：1400×1000×ｔ150×6枚 基礎：L6400×400×H500×2基	2	か所			
（敷地南側東出入口）歩道切り下げ工事	W6000×D3800 G-04図 自由勾配側溝400ｘ600	1	か所			
（敷地南側西出入口）歩道切り下げ工事	W6000×D3800	1	か所			
（敷地南側両面歩車道縁石取合）既存歩道ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装表層撤去	ｔ30	39.4	㎡			
（敷地南側両面歩車道縁石取合）既存歩道ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装路盤材撤去	ｔ150	5.9	m3			
（敷地南側両面歩車道縁石取合）歩道ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装復旧	ｔ30	39.4	㎡			
（敷地南側両面歩車道縁石取合）歩道ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装路盤復旧	ｔ150　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	5.9	m3			
雨水桝M、N（現場打ち）	内寸600角×h700+150/外寸840角×H970 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋600角用（700角）T-14細目ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕様（1か所あたり）	2	か所			
雨水桝Q,R（現場打ち）	内寸500角×h370+150/外寸740角×H640 桝蓋：ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋500角用（600角）T-2仕様 受枠共	2	か所			
U型側溝450		37.6	m			

一般工事（新営）　外構　敷地外工事

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
計						

一般工事（新営）　外構　発生材処理

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	2.6	m3			
発生材積込	アスファルト	2.7	m3			
発生材積込	砕石	11.2	m3			
発生材積込	鉄くず	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間無し　6.0km以下	2.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間無し　6.0km以下	2.7	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.45m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間無し　6.0km以下	11.2	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類 DID区間無し　5.5km以下	0.1	m3			
計						

その他工事（新営）　外構　舗装

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
舗装機械運搬 (振動ﾛｰﾗ)		1	往復			
舗装機械運搬 (ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ)		1	往復			
透水性ｶﾗｰｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	A-5-10-10　500m2未満 ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物・路盤材共 G-01図	243	㎡			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	A-5-15 再生密粒 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 1000-2500㎡未満	1,885	㎡			
歩道用ｶﾗｰｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	A-3-10　500m2未満 再生密粒　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ G-01図	198	㎡			
車道用ｶﾗｰｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	A-5-15　500m2未満 再生密粒　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ G-01図	23.2	㎡			
ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	歩道C-7-10 特に狭い場所 人力 路盤材共 再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	39.5	㎡			
インターロッキング舗装	ｔ80　路盤共	70	㎡			
ﾂﾘｰｻｰｸﾙ	φ1200　受けブロック共	1	か所			
駐車区画ﾗｲﾝ引き	溶融式　W150	282	m			
（身障者用駐車場）駐車禁止区画ｾﾞﾌﾞﾗﾗｲﾝ引き	溶融式　W150	73.6	m			
車いすﾏｰｸ白線引き	溶融式　1400×1400程度 国際ｼﾝﾎﾞﾙﾏｰｸ	1	か所			
ハートフルマーク表示		1	か所			
駐車禁止ゼブラライン		1	式			
計						

その他工事（新営）　外構　植栽

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
植樹（ｶﾞｻﾞﾆｱ）新設	密植	144	㎡			
芝張り	こうらい芝 ﾍﾟﾀ張り　芝ぐし共	58.8	㎡			
客土	腐葉土　H250	40.4	m3			
計						

米　子　市

鉄骨工事（新営）　ふれあい棟　本体鉄骨

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0024
計						

鉄骨工事（新営）　ふれあい棟　付帯鉄骨等

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
付帯工事		1	式			別紙 00-0025
柱底均しモルタル	仕様、寸法	1	式			別紙 00-0027
計						

鉄骨工事（新営）　大屋根　本体鉄骨

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0028
計						

米　子　市

鉄骨工事（新営）　大屋根　付帯鉄骨等

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
付帯工事		1	式			別紙 00-0029
柱底均しモルタル	B種	1	式			別紙 00-0031
安全架設工事		1	式			別紙 00-0032
計						

鉄骨工事（新営）　渡り廊下　本体鉄骨

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0033
計						

鉄骨工事（新営）　渡り廊下　付帯鉄骨等

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
付帯鉄骨		1	式			別紙 00-0034
柱底均しモルタル	仕様、寸法	1	式			別紙 00-0036
安全架設工事		1	式			別紙 00-0037
計						

発生材処分（新営）		発生材処分			発生材処分	
名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
残土処分	ふれあい棟	674				
発生土処分	啓成の大屋根	161	m3			
発生土処分	渡り廊下	131	m3			
舗装下すきとり土建設発生土処分	場外処分　外構共	385	m3			
発生材処分　外構	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	4.5	t			
発生材処分　体育館	無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	22.8	t			
発生材処分	ｱｽﾌｧﾙﾄ	6.3	t			
発生材処分	砕石	26.3	t			
発生材処分（ｽｸﾗｯﾌﾟ控除）	鉄くず　H2	60	kg			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生	屋根・樋改修	1,197	㎡			
養生	外壁等改修・スロープ1改修	248	㎡			
整理清掃後片付け	屋根・樋改修	1,197	㎡			
整理清掃後片付け	外壁等改修	248	㎡			
枠組み本足場	W900 手摺先行　運搬費共	913	㎡			
ブラケット足場	W900 運搬費共	92	m			
安全手摺	枠組み本足場　手摺先行　運搬費共	140	m			
脚立足場	直列　運搬費共	130	m			
養生シート張り	塗装部分	375	㎡			
単管本足場	石綿含有材撤去部・破風下地錆止め部分囲い　運搬費共	47.4	㎡			
養生シート張り	石綿含有材撤去部・破風下地錆止め部分囲い	47.4	㎡			
屋根足場	大屋根・下屋　単管　運搬費共	1,196	㎡			
墨出し	スロープ1	8.1	㎡			
墨出し	小規模 RC･SRC造 新設ｽﾛｰﾌﾟ	37.1	㎡			
養生	小規模 RC･SRC造 新設ｽﾛｰﾌﾟ	37.1	㎡			
整理清掃 後片付け	小規模 RC･SRC造 新設ｽﾛｰﾌﾟ	37.1	㎡			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　土工

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
根切り	スロープ1	0.2	m3			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土　スロープ1	0.2	m3			
根切り	小規模土工 新設ｽﾛｰﾌﾟ	22.1	m3			
埋戻し(B種)	小規模土工 新設ｽﾛｰﾌﾟ	8	m3			
盛土(B種)	小規模土工 新設ｽﾛｰﾌﾟ	3.3	m3			
積込み	小規模土工 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3	10.8	m3			
建設発生土運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 土砂 DID区間無し 35.0km以下	10.8	m3			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　地業

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	3.6	m3			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　鉄筋

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
異形棒鋼	D10　SD295A 新設ｽﾛｰﾌﾟ	233	kg			
異形棒鋼	D13　SD295A 新設ｽﾛｰﾌﾟ	406	kg			
鉄筋加工組立	小型構造物 新設ｽﾛｰﾌﾟ	0.6	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　30km程度 新設ｽﾛｰﾌﾟ	0.6	t			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　コンクリート

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
生コンクリート	18(N/mm2) S-15 新設ｽﾛｰﾌﾟ	0.5	m3			
生コンクリート	21(N/mm2) S-15 新設ｽﾛｰﾌﾟ	10.3	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設 -　S15～S18 新設ｽﾛｰﾌﾟ	0.5	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	小型構造物　人力打設 新設ｽﾛｰﾌﾟ　S15～S18 -　-	4.8	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ 人力打設 -　S15～S18 新設ｽﾛｰﾌﾟ	5.6	m3			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　型枠

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
型枠	普通合板型枠 スロープ1	0.1	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　30km程度 往復	0.1	㎡			
型枠目地棒	根巻	1.2	m			
普通型枠	新設ｽﾛｰﾌﾟ	7	㎡			
打放し合板型枠 B種	新設ｽﾛｰﾌﾟ	41.6	㎡			
型枠運搬	4t車 往復 新設ｽﾛｰﾌﾟ	48.6	㎡			
型枠処分費		16.2	㎡			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　防水

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10 丸環周囲	0.8	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 10×10 ALC目地・端部	778	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ系(PU-2) 10×10 ｻｯｼ周り(ALC取合部)	119	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10 ｻｯｼ周り(ｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ取合部)	131	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	ｼﾘｺｰﾝ系(SR-1) 10×10 ｶﾞﾗｽ周り	396	m			
ｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ系(MS-2) 10×10 根巻	2.4	m			
ブチルコーキング	屋根	200	m			
水洗い	幅木・根巻	41.2	㎡			
水洗い	外壁・柱型	392	㎡			
ポリマーセメントモルタル塗り	根巻　t25程度　プライマー共	1	式			2.4㎡
ポリマーセメントモルタル塗り	スロープ1 t10	1	㎡			
施工数量調査(外壁改修)	ALC面・ラスモルタル面	392	㎡			
ALCクラック補修	Uカットシール材充填工法	1.1	m			
ALC欠損補修	50×50程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	7	か所			
ALC欠損補修	30×100程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	4	か所			
ALC欠損補修	30×150程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	2	か所			
ALC欠損補修	30×200程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	2	か所			
ALC欠損補修	30×300程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	1	か所			
ALC欠損補修	30×400程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	1	か所			
ALC欠損補修	30×450程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	2	か所			

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　防水

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ALC欠損補修	30×500程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	1	か所			
ALC欠損補修	30×600程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	1	か所			
ALC欠損補修	30×1,000程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	1	か所			
ALC欠損補修	100×250程度　ポリマーセメントモルタル充填工法（ALC用）	1	か所			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　木工

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
棟あおり板	21×270×6,000　杉　KD　一等　JAS規格　県産材　材料費	15	本			
棟あおり板	21×270×4,000　杉　KD　一等　JAS規格　県産材　材料費	5	本			
雨押え包み板	21×150×6,000　杉　KD　一等　JAS規格　県産材　材料費	18	本			
棟あおり板・雨押え包み板取付	施工手間	216	m			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　屋根及びとい

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
アスファルトルーフィング940		1,279	㎡			
フッ素樹脂塗装GL鋼板横葺き屋根	t0.4　継手部・折部役物共	1,196	㎡			
雨水溝	屋根同材	26.2	m			
棟包み	屋根同材	54.3	m			
雨押え包み	大屋根　屋根同材	78.6	m			
雨押え包み	下屋　屋根同材	28.6	m			
軒先唐草	屋根同材	211	m			
軒先水切り	屋根同材	211	m			
雪止めネット	菱形金網20mm目 亜鉛メッキ焼付塗装鉄線　W1,000　取付用金物一式共	240	m			
丸環取外し・再取付		2	か所			
塩ビ角樋	W150　前高　カラー　ステンレス取付金物共	17.5	m			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　金属

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
軽量鉄骨天井下地	25形　@300	13.5	㎡			
あと施工アンカー	金属系　M10	20	本			
手摺	ステンレス製　PL-6(W50・W100)共 ボルト・袋ナット共	8.1	m			
床下換気口アルミガラリ取付	外付け　ビス留	15	か所			
水切り金物	フッ素鋼板　t0.4　曲加工 新設ｽﾛｰﾌﾟ	18.8	m			
あと施工アンカー	金属系　M10 新設ｽﾛｰﾌﾟ	27	本			
鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ溝ふた	側溝用(枠付)　細目 歩行用 ﾎﾞﾙﾄ固定無 新設ｽﾛｰﾌﾟ	2	m			
手摺	SUS製　鏡面仕上 新設ｽﾛｰﾌﾟ	26.6	m			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　左官

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
C-1塗布	幅木・根巻	42.1	㎡			
複層塗材 E	ALCﾊﾟﾈﾙ面　ﾛｰﾗｰ塗り 下地調整費(C-1)共	373	㎡			
複層塗材 E	モルタル面　ﾛｰﾗｰ塗り 下地調整費(C-1)共	18.7	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ 新設ｽﾛｰﾌﾟ	7.5	㎡			
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて ﾓﾙﾀﾙ塗下地 新設ｽﾛｰﾌﾟ	11.5	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗刷毛引き仕上	新設ｽﾛｰﾌﾟ	6.8	㎡			
床ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　厚30 新設ｽﾛｰﾌﾟ	11.5	㎡			
階段ﾓﾙﾀﾙ塗り	金ごて ﾓﾙﾀﾙ仕上げ　厚30 新設ｽﾛｰﾌﾟ	3.3	㎡			
打放し面補修	B 種 ｺｰﾝ処理　部分目違いばらい	10.6	㎡			
排水溝ﾓﾙﾀﾙ	厚さ20 新設ｽﾛｰﾌﾟ	2	㎡			
床ﾀｲﾙ (階段用ﾀｲﾙ張り)	垂れ付き段鼻 Ⅰ類　無ゆう 100㎜角 下地ﾓﾙﾀﾙ別途 新設ｽﾛｰﾌﾟ	14.8	m			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　塗装

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
WP塗装	棟あおり板・雨押え包み板	95.6	㎡			
ＥＰ塗り	けい酸ｶﾙｼｳﾑ板面　工程B種(見上) 素地B種	13.5	㎡			
錆止め塗装	破風下地	1	式			0.9㎡
SOP塗装	鉄骨ブレース　ケレン・錆止め共	52.1	m			
床 防塵塗装	水性ｱｸﾘﾙ系樹脂塗材 ｺﾝｸﾘｰﾄ面 新設ｽﾛｰﾌﾟ	24.5	㎡			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　　内外装

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
破風スパンドレル貼り	カラーGL鋼板t0.5 働き巾116程度 目地幅9程度	5	㎡			
水切り	W150程度　破風スパンドレル同材	12.8	m			
水切り	W35程度　破風スパンドレル同材	12.8	m			
見切縁	コの字　破風スパンドレル同材	12.8	m			
天井　けい酸ｶﾙｼｳﾑ板張り	t6	13.5	㎡			
計						

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　撤去　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
屋根材撤去	雨水溝・棟包み・雨押え包み・折部役物・唐草・水切り共　集積共	1,279	㎡			
アスファルトルーフィング撤去	集積共	1,279	㎡			
ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	集積共	1,424	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ﾓﾙﾀﾙ面　厚さ20～30㎜	15.3	m			
ｶｯﾀｰ入れ	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 厚さ20～30㎜	16.5	m			
根巻モルタル撤去	集積共	3.3	㎡			
軒樋撤去	集積共	17.5	m			
破風撤去	着色亜鉛メッキ鋼板スパンドレルt0.4　見切縁・水切共　集積共	5	㎡			
ケイカル板撤去	t6　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有 集積共	13.5	㎡			
ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去	鉄筋切断共 人力　集積共	0.1	m3			
発生材積込み	金属くず	5.2	m3			
軒天下地撤去	集積共	13.5	㎡			
発生材積込み	アスファルトルーフィング	1.3	m3			
発生材積込み	ｺﾝｸﾘｰﾄ類　人力	0.5	m3			
発生材積込み	石綿含有材 人力	0.1	m3			
発生材積込み	廃プラ類 人力	0.2	m3			
発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級 金属くず	1	台			
発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 コンクリート類	1	台			
発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 石綿含有材	1	台			
発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 廃プラ類	1	台			

一般工事（改修）既存屋内運動場改修　撤去　撤去

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 アスファルトルーフィング	1	台			
計						

その他工事（改修）既存渡り廊下解体　　解体　　解体

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
上屋解体	渡り廊下 機械器具損料・重機運搬費・重機運転費・仮設材・分別・集積共	19.3	㎡			
土間解体	渡り廊下 砕石共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運転費・仮設材・分別・集積共	4.6	m3			
基礎解体	渡り廊下 砕石共 根切り・埋戻し（発生土）・敷き均し（発生土）共 機械器具損料・重機運搬費・重機運転費・仮設材・分別・集積共	0.8	m3			
発生材積込み	コンクリート類	5.4	m3			
発生材積込み	金属くず	0.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	コンクリート類 ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　10t積級	5.4	m3			
とりこわし 発生材運搬	金属くず ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級	1	台			
計						

発生材処分（改修）　発生材処分費　発生材処分

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材処分費	金属くず　H4 屋内運動場	7.4	t			
発生材処分費	コンクリート類 屋内運動場	1.2	t			
発生材処分費	石綿含有材 屋内運動場	0.1	m3			
発生材処分費	廃プラ類 屋内運動場	0.2	m3			
発生材処分費	アスファルトルーフィング 屋内運動場	1.3	m3			
発生材処分費	コンクリート類 渡り廊下	11.3	t			
発生材処分費	ヘビーH2 渡り廊下	1	t			
発生材処分費	ヘビーH4 渡り廊下	0.3	t			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0001
遣方	一 般	604	㎡			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0002
墨出し	一 般　RC･SRC造 地上階	594	㎡			
墨出し	一 般　RC･SRC造 ﾋﾟｯﾄ	99	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0003
養生	一 般　RC･SRC造 地上階	594	㎡			
養生	一 般　RC･SRC造 ﾋﾟｯﾄ	99	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0004
整理清掃 後片付け	一 般　RC･SRC造 地上階	594	㎡			
整理清掃 後片付け	一 般　RC･SRC造 ﾋﾟｯﾄ	99	㎡			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外部足場		1	式			別紙 00-0005
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700　布枠500+240 RC造標準日数 修理費含む 12m未満　1階建 建築面積　750㎡	465	㎡			
計						
地足場		1	式			別紙 00-0006
地足場	RC造標準日数 修理費含む	594	㎡			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0007
内部躯体足場	RC造標準日数 修理費含む 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下　平家用	594	㎡			
内部仕上足場	RC造標準日数 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下　平家用	594	㎡			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0008
安全手すり	単管本足場用 RC造標準日数 修理費含む 建築面積　750㎡	104	m			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ張り	防炎Ⅰ類	465	㎡			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0009
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	465	㎡			
仮設材運搬 (地足場)		594	㎡			
仮設材運搬 (内部躯体足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	594	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	594	㎡			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		127	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	104	m			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　既製コンクリート杭地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
材料		1	式			別紙 00-0038
JP-NPH	L=8m φ500-400 A種	30	本			
PHC	L=9m φ400 B種	30	本			
SC	L=6m φ400 SKK490 t=9	30	本			
計						
施工費		1	式			別紙 00-0039
機械器具運搬費・組立解体費	三点支持式杭打機１台	1	式			
掘削施工費　φ500	ヤットコ長さ45m含む	735	m			
バックホウ損料		10	日			
発電機損料		10	日			
サイロ運賃・仮設費		1	基			
試験堀施工費		1	式			
技術管理費		1	式			
残土処分固化材		215	m3			
回転埋設用金具	回転金具φ400	30	set			
無溶接金具	φ400	60	個			
データ処理費		1	式			
法定福利費		1	式			
計						

一般工事（新営）　ふれあい棟　既製コンクリート杭地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
杭頭補強筋		1	式			別紙 00-0040
フレア溶接	SD345 D22 溶接長100mm	264	本			
計						

一般工事（新営）　大屋根　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0010
遣方	一 般	145	㎡			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0011
墨出し	一 般　S造 外部廊下	145	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0012
養生	一 般　S造 外部廊下	145	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0013
整理清掃 後片付け	一 般　S造 外部廊下	145	㎡			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0014
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　布枠500ｘ1枚 12m未満	321	㎡			
外部仕上足場	枠組棚足場 H=4500	212	㎡			
計						

一般工事（新営）　大屋根　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
災害防止		1	式			別紙 00-0015
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	57.6	m			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ張り	防炎Ｉ類	321	㎡			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0016
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	321	㎡			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	212	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	57.6	m			
計						

一般工事（新営）　大屋根　既製コンクリート杭地業

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
材料費		1	式			別紙 00-0041
JP-NPH	L=8m φ500-400 A種	7	本			
PHC	L=9m φ400 A種	7	本			
PHC	L=6m φ400 A種	7	本			
計						
施工費		1	式			別紙 00-0042
掘削施工費　φ500	ヤットコ長さ7.7m含む	169	m			
バックホウ損料		3	日			
発電機損料		3	日			
技術管理費		1	式			
残土処分固化材		55	m3			
回転埋設用金具	回転金具φ400	7	set			
無溶接金具	φ400	14	個			
法定福利費		1	式			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0017
遣方	一 般	143	㎡			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0018
墨出し	一 般　S造 外部廊下	143	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0019
養生	一 般　S造 外部廊下	143	㎡			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0020
整理清掃 後片付け	一 般　S造 外部廊下	143	㎡			
計						

一般工事（新営）　渡り廊下　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
外部足場		1	式			別紙 00-0021
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700　布枠500ｘ1枚 12m未満	94.8	㎡			
外部仕上足場	枠組棚足場 H=4500	10.1	㎡			
外部仕上足場	脚立足場 H=1800	134	㎡			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0022
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用	21.2	m			
ﾈｯﾄ状養生ｼｰﾄ張り	防炎Ｉ類	493	㎡			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0023
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	94.8	㎡			
仮設材運搬(内部 仕上足場 棚足場) (手すり先行方式)	4.0m超5.0m未満	10.1	㎡			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	21.2	m			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	134	㎡			
計						

鉄骨工事（新営）	ふれあい棟			本体鉄骨		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0024
（目隠し下地）						
（鋼材費）						
□-125x125x6	STKR400	532	kg			
□-100x100x4.5	STKR400	969	kg			
C-100x50x20x2.3	SSC400	435	kg			
PL-16	SS400	70	kg			
PL-6	SS400	70	kg			
スクラップ		-67	kg			
BOLT M12x140	中ボルト 4T	141	kg			
BOLT M12x40	中ボルト 4T	83	kg			
A.BOLT M12	SS400	33	kg			
（加工費）						
工作図費		2,077	kg			
工場加工費		2,076	kg			
建方費		2,077	kg			
建方重機費	25tラフタークレーン	2,077	kg			
現場加工費	合番・調整	2,077	kg			
運搬費		2,077	kg			
機械器具損料		2,077	kg			

鉄骨工事（新営）	ふれあい棟	本体鉄骨				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0024
消耗品		2,077	kg			
工場管理費		1	式			
（設備架台）						
（鋼材費）						
[-150x75x6.5	SS400	266	kg			
スクラップ		-9	kg			
A.BOLT M12	SS400	8	kg			
（加工費）						
工作図費		267	kg			
工場加工費		266	kg			
建方費		267	kg			
建方重機費	25tラフタークレーン	267	kg			
現場加工費	合番・調整	267	kg			
運搬費		267	kg			
機械器具損料		267	kg			
消耗品		267	kg			
工場管理費		1	式			
（キュービクル架台）						
（鋼材費）						

鉄骨工事（新営）　ふれあい棟　本体鉄骨

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0024
H-200x200x8x12	SS400	545	kg			
L-50x50x6	SS400	158	kg			
PL-12	SS400	50	kg			
PL-6	SS400	120	kg			
スクラップ		-27	kg			
A.BOLT M12	SS400	8	kg			
HTB M16x40	F8T	46	kg			
（加工費）						
工作図費		874	kg			
工場加工費		873	kg			
建方費		874	kg			
建方重機費	25tラフタークレーン	874	kg			
現場加工費	合番・調整	874	kg			
運搬費		874	kg			
機械器具損料		874	kg			
消耗品		874	kg			
工場管理費		1	式			
計						

鉄骨工事（新営）　ふれあい棟　付帯鉄骨等

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
付帯工事		1	式			別紙 00-0025
（目隠し下地）						
ｱﾝｶｰｾｯﾄ		8	か所			
溶融亜鉛メッキ	本体	1,979	kg			
ﾒｯｷ運搬費	往復	1	台			
テンプレート撤去		8	か所			
（設備架台）						
ｱﾝｶｰｾｯﾄ		4	か所			
溶融亜鉛メッキ	本体	253	kg			
ﾒｯｷ運搬費	往復	0.5	台			
テンプレート撤去		4	か所			
（ｷｭｰﾋﾞｸﾙ架台）						
ｱﾝｶｰｾｯﾄ		10	か所			
溶融亜鉛メッキ	本体	834	kg			
ﾒｯｷ運搬費	往復	1	台			
テンプレート撤去		10	か所			
計						

鉄骨工事（新営）	ふれあい棟	付帯鉄骨等				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
柱底均しモルタル	仕様、寸法	1	式			別紙 00-0027
（目隠し下地）						
柱底均しﾓﾙﾀﾙ	B 種 400角	8	か所			
計						

鉄骨工事（新営）	大屋根			本体鉄骨		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0028
（鋼材費）						
H-200x100x5.5x8	SS400	528	kg			
H-300x150x6.5x9	SS400	1,824	kg			
H-390x300x10x16	SS400	3,555	kg			
H-400x200x8x13	SS400	3,125	kg			
φ76.3x3.2	STK400	266	kg			
φ267.4x7	STK400	488	kg			
φ267.4x9	STK400	1,412	kg			
CT-150x150x6.5x9	SS400	32	kg			
FB-9x25	SS400　裏当て金	39	kg			
FB-9x25	SS400	45	kg			
PL-16	SN490C	118	kg			
PL-28	SN490C	46	kg			
PL-32	SN490C	441	kg			
PL-45	SN490C	147	kg			
PL-16	SS400 定着板	12	kg			
PL-6	SS400	210	kg			
PL-9	SS400	115	kg			
PL-12	SS400	136	kg			

鉄骨工事（新営）	大屋根	本体鉄骨				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0028
S.PL-9	SS400	430	kg			
S.PL-12	SS400	215	kg			
スクラップ		-423	kg			
HTB M16x45	F8T	22	kg			
HTB M16x50	F8T	8	kg			
HTB M20x55	F8T	32	kg			
HTB M20x65	F8T	47	kg			
HTB M20x70	F8T	144	kg			
HTB M22x70	F8T	29	kg			
HTB M22x80	F8T	89	kg			
A.BOLT M24	ABR400	61	kg			
FB-6x52	SS400 水平ブレース	56	kg			
RB-16	SS400 水平ブレース	193	kg			
TURNB-16	水平ブレース	32	個			
（加工費）						
工作図費		13,865	kg			
工場加工費		13,184	kg			
建方費		13,865	kg			
建方重機費	25tラフタークレーン	13,865	kg			

鉄骨工事（新営）	大屋根	本体鉄骨				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0028
現場加工費	合番・調整	13,865	kg			
運搬費		13,865	kg			
機械器具損料		13,865	kg			
消耗品		13,865	kg			
工場管理費		1	式			
計						

鉄骨工事（新営）	大屋根	付帯鉄骨等				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
付帯工事		1	式			別紙 00-0029
ｱﾝｶｰｾｯﾄ		6	か所			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設前調整		6	か所			
母屋工事		2,950	kg			
曲げ加工費	破風　穴あき部	156	kg			
溶融亜鉛メッキ	本体	12,300	kg			
継手部リン酸塩処理		12,300	kg			
溶融亜鉛メッキ	母屋	2,425	kg			
ﾒｯｷ運搬費	往復	3	台			
テンプレート撤去		6	か所			
計						
柱底均しモルタル	B種	1	式			別紙 00-0031
柱底均しﾓﾙﾀﾙ	B 種 500角	6	か所			
計						

鉄骨工事（新営）	大屋根	付帯鉄骨等				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
安全架設工事		1	式			別紙 00-0032
水平ネット		273	㎡			
親綱		170	m			
親綱支柱		56	本			
親綱緊張器		21	個			
ネットクランプ		172	個			
仮設材運搬費		2	回			
アルミ２連梯子	7m	2	台			
安全ブロック		6	台			
計						

鉄骨工事（新営）	渡り廊下			本体鉄骨		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0033
（鋼材費）						
H-150x75x5x7	SS400	403	kg			
H-200x100x5.5x8	SS400	523	kg			
H-250x125x6x9	SS400	4,461	kg			
□-150x150x6	STKR400	3,103	kg			
[-100x50x5	SS400	33	kg			
C-100x50x20x2.3	SSC400	300	kg			
FB-9x25	SS400　裏当て金	142	kg			
FB-9x25	SS400	69	kg			
PL-16	SN490C	337	kg			
PL-3.2	SS400	43	kg			
PL-6	SS400	317	kg			
PL-9	SS400	20	kg			
PL-22	SS400	517	kg			
S.PL-6	SS400	374	kg			
S.PL-12	SS400	777	kg			
スクラップ		-355	kg			
HTB M16x45	F8T	33	kg			
HTB M16x50	F8T	142	kg			

鉄骨工事（新営）	渡り廊下	本体鉄骨				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
鉄骨工事		1	式			別紙 00-0033
HTB M16x55	F8T	439	kg			
HTB M20x50	F8T	9	kg			
A.BOLT M16	SS400	152	kg			
FB-6x52	SS400 水平ブレース	70	kg			
RB-16	SS400 水平ブレース	269	kg			
TURNB-16	水平ブレース	40	個			
（加工費）						
工作図費		12,533	kg			
工場加工費		11,419	kg			
建方費		12,533	kg			
建方重機費	2.9ｔミニクレーン	12,533	kg			
現場加工費	合番・調整	12,533	kg			
運搬費		12,533	kg			
機械器具損料		12,533	kg			
消耗品		12,533	kg			
工場管理費		1	式			
計						

鉄骨工事（新営）	渡り廊下	付帯鉄骨等				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
付帯鉄骨		1	式			別紙 00-0034
ｱﾝｶｰｾｯﾄ		32	か所			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設前調整		32	か所			
溶融亜鉛メッキ	本体	10,628	kg			
継手部リン酸塩処理		10,628	kg			
ﾒｯｷ運搬費	往復	2	台			
テンプレート撤去		32	か所			
計						
柱底均しモルタル	仕様、寸法	1	式			別紙 00-0036
柱底均しﾓﾙﾀﾙ	B 種 400角	32	か所			
計						

鉄骨工事（新営）	渡り廊下	付帯鉄骨等				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
安全架設工事		1	式			別紙 00-0037
水平ネット		298	㎡			
親綱		202	m			
親綱支柱		46	本			
親綱緊張器		33	個			
ネットクランプ		300	m			
仮設材運搬費		2	回			
アルミ２連梯子	7m	2	台			
安全ブロック		8	台			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
非破壊検査　杭頭補強	自主検査	264	か所			
非破壊検査　杭頭補強	第三検査	1	式			別紙 00-0044
水替え費	ｳｪﾙﾎﾟｲﾝﾄ工法　ﾗｲｻﾞｰ打込み φ50 L4m @1m　ﾍｯﾀﾞｰ配管φ100 真空ﾎﾟﾝﾌﾟ9.2k 排水ﾊﾟｲﾌﾟφ150 L5m/台 発電機・燃料費・機材運搬費共	1	式			
仮設仮囲い	単管＋ﾒｯｼｭｼｰﾄ　Ｈ＝2000　4か月	22.2	m			
仮設仮囲い	単管＋ﾒｯｼｭｼｰﾄ　Ｈ＝2000　2か月	89.2	m			
仮設渡り廊下	2200 x 3600	1	か所			
現地ＣＢＲ試験	3か所	1	式			
現場密度測定	3か所	1	式			
厚さ測定	11か所	1	式			
化学物質濃度測定	6種類　2か所	1	式			
セメントミルク圧縮試験費		6	set			
六価クロム溶出試験		1	式			
溶接部試験　ふれあい棟	工場及び現場 第三者試験機関	1	式			別紙 00-0026
溶接部試験　啓成の大屋根	工場及び現場 第三者試験機関	1	式			別紙 00-0030
溶接部試験　渡り廊下	工場及び現場 第三者試験機関	1	式			別紙 00-0035
地盤改良　試験費		1	式			別紙 00-0043
ラフテレーンクレーン	16 t	23	日			
仮設敷き鉄板	2か月	55.7	㎡			
交通誘導員		44	人			

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
産廃処分税		2.1	t			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
非破壊検査　杭頭補強	第三検査	1	式			別紙 00-0044
浸透探傷試験	有資格　n=33	4	日			
現場管理費		1	式			
報告書		1	式			
計						
溶接部試験　ふれあい棟	工場及び現場 第三者試験機関	1	式			別紙 00-0026
(目隠し下地)						
社内検査費	工場溶接100%	2	t			
(設備架台)						
社内検査費	工場溶接100%	0.5	t			
(ｷｭｰﾋﾞｸﾙ架台)						
社内検査費	工場溶接100%	1	t			
受入検査費	AOQL 4% 第6水準 第三者試験機関	1	t			
計						
溶接部試験　啓成の大屋根	工場及び現場 第三者試験機関	1	式			別紙 00-0030
社内検査費	工場溶接100%	14	t			
受入検査費	AOQL 4% 第6水準 第三者試験機関	14	t			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
溶接部試験　渡り廊下	工場及び現場 第三者試験機関	1	式			別紙 00-0035
社内検査費	工場溶接100%	12	t			
受入検査費	AOQL 4% 第6水準 第三者試験機関	12	t			
計						
地盤改良　試験費		1	式			別紙 00-0043
六価クロム溶出試験費		1	検体			
室内配合試験		1	回			
一軸圧縮強度試験費	頭部1SET、深度3SET	4	SET			
頭部コア採取費		1	か所			
深度コア採取費		1	か所			
計						

１　下請関係の合理化について

(1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適性化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い同指針の遵守に努めること。

(2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。

(3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。

(4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がいない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

(5) 共同企業体が工事を請け負う場合、構成員による下請けは行わないこと。

２　建設資材等について

(1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。

(2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。

(3) 工事に使用する資材については、鳥取県が定める「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。

(4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。

①　市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。

②　県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

(5)　工事に使用する資材については、極力有害性ＶＯＣ（揮発性有機化学物質）発生量の少ないものとするよう努めること。

３　工事の安全確保について

(1) この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

(2) 労働安全衛生法第59条、第60条の2に定める安全衛生教育を実施するほか、工事着手後、作業員全員の参加により、月当たり半日以上の時間を割り当てて、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施するものとし、施工計画書に実施項目について記載するものとする。

(3) この契約に係る工事の施工中に事故が発生した場合は、事故報告書（米子市建築工事等事故関係事務処理マニュアルに定める様式）を提出すると共に、建設工事事故データベースの「事故報告書」についても速やかに提出するものとする。

4　建設機械の使用について

(1) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。

(2) 施工現場の快適性を高めるため、排出ガス対策型建設機械の使用に努めること。

5　団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（昭和 42 年法律第 131 号）の目的に鑑み、同法第１２条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

6　ダンプトラック等、による運搬について

(1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。

(2) さし枠装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。

(3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。

(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

(5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当って、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。

(6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。

(7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。

(8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

7　不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和 25 年法律第 226 号）に違反する軽油等を使用しないこと。

8　建設業退職金共済制度への加入等

(1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。

(2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入並びに証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。

(3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。
(4) 請負業者は、建退共の発注者用の掛金収納書を原則として契約締結後１ケ月以内に提出しなければならない。

9　建設業法の遵守について
(1) 建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）に違反する一括下請負その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
(2) 建設業法第 26 条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
(3) 請負者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、１級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
(4) 建設業法第 40 条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
(5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

10　労働基準法等の遵守
この契約に係る工事の施工に当たっては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週４０時間を遵守すること。

11　建設業からの暴力団排除の徹底について
(1) 鳥取県暴力団排除条例（平成 23 年３月鳥取県条例第３号）に基づき、暴力団、暴力団員又はこれらの利益につながる活動やこれらと密接な関係を有するなどの行為を行わないこと。
(2) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
(3) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

12　産業廃棄物の処理に係る税について
この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

13　現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士の雇用関係について
(1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
(2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（３か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と

所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者の有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14　労働者の福祉向上について

(1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に加入するよう指導に努めること。

(2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15　消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成 25 年法律第 41 号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

16　契約方式について

本工事は総価契約方式を採用しており、設計図書に示された条件などに変更がある場合は契約を変更することができる。契約変更を行う場合には、変更設計額に当初の契約の請負比率を乗じ、変更請負代金額を算出する。

17　その他

(1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。

(2) 本来一体とすべき同一敷地内又は同一敷地内（隣接した敷地を含む）の工事を分割して発注し、新規に発注する工事（以下、「後工事」という。）を現に施工中の工事の受注者と随意契約しようとする場合の共通仮設費は、契約済みの全ての工事（以下「前工事」という。）と後工事を一括して発注したとして算出した共通仮設費の額から、前工事の共通仮設費の額を控除した額とする。なお、後工事が複数ある場合は、その合算工事費を対象とする。

(3) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。

(4) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。

(5) 特定フロンの使用の削減に努めること。

(6) 労務費については、法定労働時間週 40 時間を考慮したものとしている。

(7) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

(8) 工事及び業務における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策の徹底について（令和３年４月２２日付契起第６８号－１米子市総務部長通知）に基づき、追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

特 記 事 項　［施工条件明示事項］

※ 番号、・に□印のあるものについて適用する。

明示項目	明　示　事　項	条　件
1 工程	1. 他工事との調整	工事名　啓成小学校校舎棟改築建築主体工事 啓成小学校校舎等改築電気設備工事 啓成小学校校舎等改築機械設備工事 啓成小学校プール改築建築主体工事 啓成小学校マンホールトイレ設置工事(仮) 上記工事との連絡及び工程の調整を図ること。
	2. 施工時期，施工時間及び施工方法の制限	制限される工事 ・ 全般　・ 制限の内容　学校運営に支障が起きないように協力すること。
	3. 関係機関等との協議	本工事において、関係法令上必要あれば、関係機関と協議を行うこと。
	4．工事の指定部分	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ については、 令和　年　月　日までに完成させること。
	5. 地下埋設物等の調査	工事に係る地下埋設物等の事前調査については、〔未調査・（水道・下水道・電気通信・ガス・その他　　）について調査済み〕である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、（水道下水道・電気・通信・ガス・その他　　）であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。
	地下埋設物の移設が予定されている場合。	・ ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 移設期間 ＿＿＿＿＿＿＿＿
	6．週休２日促進モデル工事	本工事は、「営繕工事における週休２日促進工事実施要領」（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、発注方式は下記とする。 ・発注者指定方式 ・受注者希望方式
2 用地	1. 工事用車輌の駐車場	・駐車場がないため確保する必要がある。 ・敷地内に一部確保できる。 ・原則として敷地内で確保するものとするが、不足を生じる場合には、別途確保すること。
3 公害対策	1. 施工方法、機械施設、作業時間等の制限	内　容 関係法令を遵守すること。
	2. 工事の施工に伴い、第三者に被害を及ぼすことが懸念される場合。	・近隣家屋等の　・事前事後の状況の写真を付して記録し　・事後（　　）の調査を行い、万全を期して施工すること。 ・工事概要について住民説明を行うこと。 ・近隣住民からテレビ受信障害及び工事に伴う損害が報告された場合、直ちに監督員等に連絡すると共に、市が行う対応等に協力すること。
4 安全対策	1. 交通安全施設等の指定	・一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。 ・交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 交通誘導員Ａ　人　交替要員　人　１日あたり合計　人　配置日数　日 工事全体合計　人・日 交通誘導員Ｂ 44 人　交替要員 0 人　１日あたり合計 1 人　配置日数 44 日 工事全体合計 44 人・日 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員Ａ、交通誘導員Ｂの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Ａとは、警備業法第２条第４号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第１条第４号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る１級検定合格警備員又は２級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Ｂとは、警備業法第２条第３項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員Ａ以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分に行うこと。この場合は交通誘導員Ｂを配置していることとみなす。

明示項目	明　示　事　項	条　件
5 工事用道路	1．一般道路を搬入路として使用する場合。 ・(ｱ) 工事用資機材等の搬入経路，使用期間等に制限がある場合。 ・(ｲ) 搬入路の使用中及び使用後の処置が必要である場合。 ２．仮道路を設置する場合	・運搬路及び周辺敷地並びに工作物に対し損傷を与えないよう予防措置を講じ、また損傷を与えた場合は、速やかに原形に復すこと。 ・制限の内容 工事用資機材等運搬による大型車両の出入は、登下校時間を極力避けること。 ・処置の内容 ＿＿＿＿＿＿＿＿ ・幅員＿＿m　・延長＿＿m　・切込砕石 厚＿＿cm　・その他 ・工事終了後の処置 ＿＿＿＿＿＿＿＿
6 仮設備	1．仮囲い等の範囲、構造	・工事範囲をバリケード等により明確にすること。 ・敷地周囲に仮囲いを設置し、その施工範囲、仕様等は図示による。 ・山留めは＿＿＿＿＿＿ 工法とし、その施工条件は図示による。 ・各工事共通の揚重機械として＿＿＿＿＿＿を設置しその施工条件は図示による。 ・敷地周辺の＿＿＿＿＿＿ 部分を鉄板敷きにより養生し、その施工範囲、仕様等は図示による。 ・その他労働安全衛生法に基づく仮設備
7 建設副産物の処理	1．建設発生土の処理 ・(ア)他工事等流用 ・(イ)建設技術センター ・(ウ)民間残土受入地	建設発生土は＿＿市・町・村＿＿地内の＿＿＿＿ 工事現場に運搬（片道運搬距離＿＿km）するものとする。 建設発生土は＿＿市・町・村＿＿地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離＿＿km）するものとする。 なお、処理費として１m³当り＿＿円をセンターに支払うこと。 建設発生土は伯耆市・町・村畑池地内の美保テクノス(株)に運搬（片道運搬距離22.5 km）するものとする。なお、処理費として１m³当り1,350（税別）円を美保テクノス(株)に支払うこと。 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。（土質性状（記載例）砂質土、コーン指数300KN/m²以上）
	2．分別解体等	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を見込んでいる。
	3．再資源化施設への搬出 （施設の名称・受入れ費用） （受入れ時間帯） （受入れ条件）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 なお、再資源化施設への搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊　米子市・町・村夜見町地内の(有)大成商事（運搬距離5.2 km）、費用１ｔ当たり1,000円 アスファルト塊　＿＿市・町・村＿＿地内の＿＿＿＿（運搬距離＿＿km）、費用１ｔ当たり＿＿円 建設発生木材　＿＿市・町・村＿＿地内の＿＿＿＿（運搬距離＿＿km）、費用１ｔ当たり＿＿円 その他（　　）＿＿市・町・村＿＿地内の＿＿＿＿（運搬距離＿＿km）、費用１ｔ当たり＿＿円 ８時～１７時（平日） ア　路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。 イ　コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ　建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径＿＿cm以下、長さ＿＿m以下であること。 エ　２次公害発生の恐れのある物質（廃油等）を含まないこと。
	4．最終処理等	＿＿＿＿については、＿＿市・町・村＿＿地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離＿＿km）を想定し、その費用として１ｔ当り＿＿円を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。
	5．産業廃棄物処理	建設工事等から生じる廃棄物の処理については、関係法令を遵守すること。
	6．産業廃棄物の処理に係る税	産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、2,100円見込んでいる。

明示項目	明　示　事　項	条　件
8 建設副産物の使用	1．建設発生土の使用 2．再生資源の使用	＿＿＿＿＿＿工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：＿＿＿＿＿に使用する。 ア　Co雑割材は、＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、使用箇所：＿＿＿＿＿に使用する。 イ　アスファルト・コンクリート切削殻等は、＿＿＿＿＿＿工事から運搬し、使用箇所：＿＿＿＿に使用する。 ウ　・再生クラッシャーラン〔規格：Rcc-40　〕は、使用箇所：　図示箇所　に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格：RS-　　〕は、使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。 エ　再生加熱アスファルト混合物〔規格：　　〕は、使用箇所：＿＿＿＿＿＿に使用する。 オ　その他再生資材〔資材名：　　〕〔規格：　　〕は、使用箇所：＿＿＿に使用する。
9 支障物件	1．地上，地下等に占用物件等の工事支障物件が存在する場合。	移設・撤去 防護等の方法 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
10 濁処水理	1．排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	工法 処理の方法 放流先
11 その他	1．工事実績情報の登録 2．支給材料及び貸与品がある場合 3．工事用電力等を指定する場合 4．景観への配慮 5．そ　の　他	工事請負代金額500万円以上の工事について、受注時は工事契約後10日以内に、登録内容の変更（技術者の配置変更、工期の変更）時は変更があった日から10日以内に、完成時は完成後10日以内に工事実績情報として「工事実績データ」を作成し、監督員に確認を受けた後、（一財）日本建設情報総合センターにインターネット等により登録するとともに、同センター 発行の「登録内容確認書」を監督員に提出するものとする。 品　　名＿＿＿＿＿＿　数　　量＿＿＿＿＿ 品質、規格又は性能＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 引渡場所＿＿＿＿＿＿　引渡時期＿＿＿＿＿ 内　　容＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ ア　本工事は、景観法に基づく通知対象行為である。 イ　通知対象行為の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。 ・工事の施工に際し、住民説明会を開催する予定であるので協力すること。 ・近隣住民等に対し安全及び騒音振動対策を十分に講じること。 ・契約図書の作成は、落札者において行うこと。 ・アルミニウム製建具の製造所は、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」の評価名簿に記載されている製造所とすること。 ・当該営繕工事の予定価格は、材料及び労務単価を見直した令和３年度営繕工事設計標準単価（令和３年４月改訂版）により算出しております。 ・試運転に伴う本受電後の電力基本料金及び電気工作物保安管理費は、落札者において負担すること。 ・本工事に於いて適用する標準仕様書などの各基準について、改定により最新版が存在する場合は、監督員と協議を行い施工すること。 ・交通誘導員の単価については、警備業法に規定する警備員を配置するものとして、国土交通省による公共工事設計労務単価に警備会社が必要とする諸経費を含む費用を見込んでいる。なお、直接的及び恒常的な雇用関係にある自社の従業員で対応する場合は監督員と協議を行うこと。（単価は公共工事の積算に用いるものであり、下請契約に係る労務単価や雇用関係による労働者への支払い賃金を拘束するものではない。） ・他工事の工程及び仮設計画については、共通仮設図1～3（K-01図・K-02図・K-03図）を参考とすること。

（米子市版）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る特記仕様書

１　目的・主旨

本特記仕様書は、工事及び業務（以下「工事等」という。）における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な事項を定めたものである。受注者は本特記仕様書に従って感染拡大防止に取り組むとともに、感染者等が確認された場合には発注者に速やかに報告するなど、感染拡大防止に向けて適切に対応すること。

２　感染拡大防止に向けた取組

（１）現場等における感染拡大防止対策

次の感染拡大防止対策を徹底すること。

① 工事の現場等においては、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い、うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、発熱症状がみられる者の休暇の取得など、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。

② 元請事業者をはじめ、下請事業者や技能者など、施工に携わるそれぞれの立場において、極力、三つの密を回避する対策やその影響を最大限軽減するための行動をとること。特に、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所などにおける各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所などでの食事・休憩等、現場で多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業員と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、感染防止対策に取り組むこと。また、別紙の「３つの密を避けるための手引き」を全ての作業従事者に周知するとともに、現場事務所等で掲示（掲示は工事のみ）を行い、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。

③ 作業従事者（下請事業者含む）が、鳥取県の指定する感染流行厳重警戒地域（Ⅴ）、感染流行警戒地域（Ⅵ）から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する前の14日間はやむを得ない場合を除き外出を自粛し、その後にＰＣＲ検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。なお、このＰＣＲ検査に要する費用については、感染防止対策に係る経費として設計変更の対象とするため、事前に監督員等に協議すること。

（２）県外製作工場での監督員等の立会に検査（出来形・品質）

県外の製作工場における監督員等の立会による検査は行わないこととする。なお、受注者は自主検査を行い、検査結果を監督員に提出し、監督員は書面で検査結果の確認を行うこととする。

（３）工事等の書類の提出及び受発注者間の打合せ

書類の提出及び受発注者間の打合せは次のとおりとする。

① 書類の提出について

ア　書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類：契約書、現場代理人選任（変更）通知書、主任技術者等（変更）選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ　押印書類は押印後にスキャンし、ＰＤＦに電子化したうえで電子メールにより送付する。受理、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ　発注者又は受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督職員と協議を行うこと。

② 受発注者間の打合せ

ア　打合せは、事前に電子メールなどにより打合せに必要な書類を提出したうえで、ＷＥＢ会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ　やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

・①密閉空間、②密集場所、③密接場面の３つの条件を避けること。
・最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
・マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
・打合せ等に出席した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

３　感染拡大防止対策に係る経費の設計変更

追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

４　感染等が確認された場合の対応

新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合には、次のとおり対応すること。

（１）工事等の関係者がＰＣＲ検査を受けた場合（検査結果が判明するまでの対応）

①　該当者が受注者側（現場代理人、主任技術者、監理技術者、照査技術者、担当技術者及び作業員（下請けを含む））の場合

ア　受注者は、速やかに発注者に報告する。

イ　発注者は、必要な安全対策を実施した上で即座に現場作業を停止させるとともに、全ての作業員を自宅待機とするよう受注者に要請する。（工事の場合）

②　該当者が発注者側（各監督員、調査職員及び監督補助員）の場合

ア　発注者は、速やかに受注者に連絡するとともに、該当者との濃厚接触者について自宅待機とするよう要請する。

イ　受注者は、濃厚接触者の有無について確認し、発注者に報告する。

（２）工事等の関係者がＰＣＲ検査で陽性と確認された場合

①　該当者が受注者側の場合

ア　工事等を一時中止する。（中止期間は受発注者協議の上決定）

②　該当者が発注者側の場合

ア　受発注者で協議し、必要に応じて工事等を一時中止とする。（中止期間は受発注者協議の上決定）

５　新型コロナウイルス感染症に係る工事等の一時中止措置等について

新型コロナウイルス感染症の罹患や学校の臨時休業等の感染拡大防止措置に伴い技術者等が確保できない場合、また、これらにより資機材等が調達できないなどの事情で現場の施工を継続することが困難となった場合のほか、受注者から一時中止や工期又は履行期間の延長（以下「一時中止等」という。）の申出があった場合においては、一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組状況、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、必要があると認められるときは、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行う。

６　下請負人への配慮及び元請負人と下請負人との間の取引の適正化

下請契約においても、工期の見直しや一時中止の措置等を適切に講じるとともに、請負代金の設定及び適切な代金の支払など、元請負人と下請負人との間の取引の適正化のより一層の徹底に努めること。

別 紙

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

3つの密を避けるための手引き！

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、**「3つの密（密閉・密集・密接）」**を避けてください。

- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り**「ゼロ密」**を目指しましょう。

- 屋外でも、密集・密接には、要注意。人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan　厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省　コロナ　検索

■厚生労働省フリーダイヤル

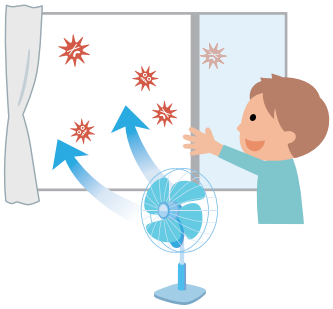
0120-565653

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

❶「密閉」空間にしないよう、こまめな換気を!

「部屋が広ければ大丈夫」、「狭い部屋は危険」というものではありません。カギは「換気の程度」です。WHOも、空気感染を起こす「結核・はしかの拡散」と「換気回数の少なさ」の関連を認めています。

窓がある場合



- 風の流れができるよう、**2方向の窓を**、**1回**、**数分間**程度、**全開**にしましょう。換気回数は**毎時2回以上**確保しましょう。
- 窓が1つしかない場合でも、入口のドアを開ければ、窓とドアの間に空気が流れます。扇風機や換気扇を併用したり工夫すれば、換気の効果はさらに上がります。

機械換気がある場合

- 窓がない施設でも、建物の施設管理者は、法令により感染症を防止するために合理的な換気量を保つような維持管理に努めるよう定められています。

  注)ビル管理法により、不特定多数の方が利用する施設では、空気環境の調整により、一人当たり換気量(毎時約30㎥)を確保するよう努めなければなりません。

- したがって、地下や窓のない高所の施設であっても、換気設備(業務用エアコン等)によって換気されていることが通常のため、過剰に心配することはありません。
- しかし油断は禁物です。換気量をさらに増やすことは予防に有効です。冷暖房効率は悪くなりますが、窓やドアを開けたり、換気設備の外気取入れ量を増やしましょう。また、一部屋当たりの人数を減らしましょう。
- 通常の家庭用エアコンは、空気を循環させるだけで、換気を行っていません。別途、換気を確保してください。また、一般的な空気清浄機は、通過する空気量が換気量に比べて少ないことから、新型コロナウイルス対策への効果は不明です。

乗り物の場合

- 乗用車やトラックなどのエアコンでは、「内気循環モード」ではなく「**外気モード**」にしましょう。
- 電車やバス等の公共交通機関でも、**窓開け**に協力しましょう。

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan　厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省　コロナ　検索

■厚生労働省フリーダイヤル

0120-565653

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

❷「密集」しないよう、人と人の距離を取りましょう!

・他の人とは互いに手を伸ばして届かない十分な距離（**2メートル以上**）を取りましょう。

・スーパーのレジなどで列に並んでいるとき、前の人に近づきすぎないよう注意しましょう。

・飲食店の座席では、**隣の人と一つ飛ばしに座る**と、距離を確保しやすいです。

また、真向かいに座らず、**互い違いに座る**のも有効です。

店舗の責任者は、椅子の数や配置を工夫して、十分な距離を保ちましょう。

・エレベーターでは、多くの人が密集しがちです。混みあっているときは、一本遅らせましょう。また、健康のためにも、階の上下には階段の利用に努めましょう。

・職場は、工夫してテレワークへ転換しましょう。導入に向けた支援策もあります。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#hatarakukata

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan　厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省　コロナ　検索

■厚生労働省フリーダイヤル

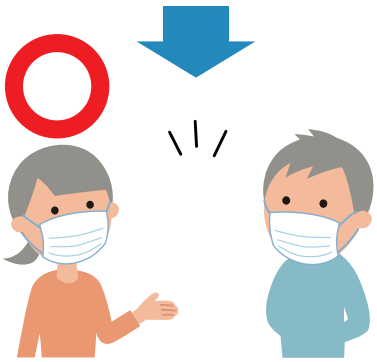
0120-565653

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

❸「密接」した会話や発声は、避けましょう!

・密接した会話や発声は、ウイルスを含んだ飛沫を飛び散らせがちです。WHO は「5 分間の会話で 1 回の咳と同じくらいの飛まつ（約 3,000 個）が飛ぶ」と報告しています。

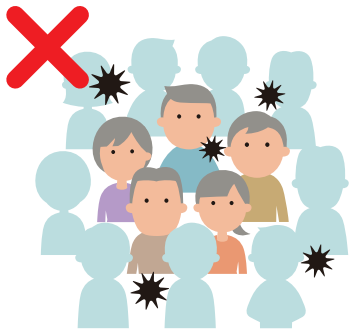
・対面での会議や面談が避けられない場合には、**十分な距離を保ち**、マスクを着用しましょう。



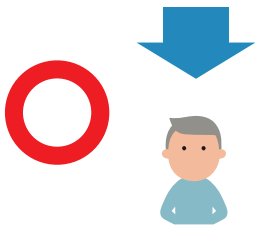
・エレベーターや電車の中などでは、距離が近づかざるを得ない場合があります。**会話**や、携帯電話による**通話を慎みましょう**。

・飲食店では、マスクを外す時間が長くなりがちです。外している間に飛沫が飛ぶことを抑えるには、例えば多人数での会食のように、大声にならざるを得ない催しは慎みましょう。家族以外の多人数での会食などは避けましょう。

注）「多人数」とは 10 人以上を想定していますが、なるべく少ない方が良いです。



・スポーツジムなど、多人数かつ室内で呼気が激しくなるような運動を行うことは避けましょう。



・喫煙も、近くにいる人との「密」に、ことのほか注意して下さい。

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan　厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省　コロナ　検索

■厚生労働省フリーダイヤル

0120-565653

（出典）首相官邸ホームページ　https://www.kantei.go.jp/jp/content/000062771.pdf